

中央区社会福祉協議会 法人化60周年記念誌



th
anniversary

目 次

ご挨拶

| | | |
|--------------|-------|---|
| 中央区社会福祉協議会会長 | 中野 耕佑 | 2 |
|--------------|-------|---|

祝 辞

| | | |
|--------------------|---------|---|
| 中央区長 | 山本 恭人 氏 | 3 |
| 中央区議会議長 | 木村 克一 氏 | 4 |
| 中央区民生・児童委員協議会 代表会長 | 小村 眞理 氏 | 5 |

年表等

| | |
|-------------------------|----|
| 社協・区・社会のできごと60年 | 6 |
| ニジノコとふりかえる～中央区社協60年のあゆみ | 13 |

法人化60周年を迎えて

| | |
|------------------------|----|
| 法人化60周年記念式典 | 23 |
| 感謝状受賞者一覧 | 24 |
| 記念座談会「つながりと支えあいの地域づくり」 | 26 |

出席者

- 京橋地域民生・児童委員
 - 明石町いきいき地域サロン代表
 - 傾聴ボランティアグループ「うさぎの会」代表
 - 福祉教育サポーター「VOLO」代表
 - 通いの場「浜町カフェ」代表
 - 日本橋地域「支えあいのまちづくり協議体」サブリーダー
 - 勝どきデイルーム利用団体「不登校親の会 いっぱいっぱい」代表
- 大谷 のぶ子 さん
- 箕輪 愼 さん
- 鳴海 なほみ さん
- 辻井 美帆 さん

資料

| | |
|--------------|----|
| 数字で見る社会福祉協議会 | 30 |
|--------------|----|

その他

| | |
|------------|----|
| 歴代会長一覧・組織図 | 34 |
| 歴代役員一覧 | 35 |
| 歴代評議員一覧 | 36 |

法人化60周年を迎えて

中央区社会福祉協議会 会長
中野 耕佑



中央区社会福祉協議会は、昭和28年5月に任意団体として発足し、昭和37年9月には、当時の厚生省から社会福祉法人の認可を受け、このたび法人化60周年という節目を迎えるに至りました。

これもひとえに、長年にわたる地域の皆様方の、温かいご支援・ご協力の賜と、改めて関係者一同、深く感謝申し上げます次第でございます。

近年、わが国では、少子高齢化の進行、生活様式や価値観の多様化などを背景に、地域住民同士のつながりの希薄化が、大きな社会問題となっております。加えて、3年間を超える新型コロナウイルス流行の長期化に伴い、高齢・障害・子育て世帯の社会的孤立などにより、必要な情報や支援が届き難い状況が続いております。こうした中、中央区においても、誰もが住み慣れた地域で、いきいきと安心して暮らし続けられる「地域共生社会」の実現に向けて、支えあいの地域づくりを一段と促進していくことが、強く求められております。

本会では、平成28年に「地域福祉活動計画」、令和3年に「第2期地域福祉活動計画」を策定し、制度の狭間や複合化した課題の解決に取り組む「地域福祉コーディネーター」の配置、地域活動や多世代交流の拠点である「勝どきデイルーム」「はまる一む」の開設など、様々な主体との連携・協働による、新たな支えあいの仕組みづくりを着実に推進してまいりました。

これからも、このたびの法人化60周年を契機として、これまで育んできた地域の絆や基盤を活かしながら、世代や分野を超えた支えあいづくりに、全力を傾けてまいる所存でございます。

皆様方のより一層のご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、ますますのご健勝・ご多幸・ご活躍を心より祈念し、記念誌発刊のご挨拶といたします。

中央区社会福祉協議会 法人化60周年を祝して

中央区長
山本 泰人



中央区社会福祉協議会が法人化60周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴協議会は、昭和37年に法人設立の認可を受けて以来、常に地域の皆様方と共に歩まれ、子育て世代、高齢者、障害のある方ははじめ、すべての人々が支えあい、助け合う地域福祉の推進に取り組むなど、今日まで発展されてきました。この60年の歴史は、歴代の会長さん、役員の方々並びに会員お一人おひとりのご努力と熱意の賜物であり、衷心より敬意を表しますとともに、感謝・御礼申し上げます。

さて、近年、地域住民が抱える課題は複雑化・複合化しています。また、既存の制度・施策の対象とならない制度の狭間の問題や社会的孤立といった課題も顕在化してきています。

そのような中であって、貴協議会におかれましては、平成29年度に「地域ささえあい課」を立ち上げ、年齢や対象を問わず生活上の困難を抱えた世帯に寄り添った支援を行うな

ど、地域の方々が力を合わせて支えあう地域共生社会の構築に向けて中心的な役割を果たしていただいております。

本区では、昨年1月1日、70年ぶりに定住人口が過去最多を更新し、今後も増加が見込まれています。あわせて、新型コロナウイルス感染症の流行とそれに伴う生活様式の変容や働き方に対する意識の変化、デジタル化の加速度的な進展等が、人々の暮らしから価値観に至るまで広範囲にわたり大きな影響を及ぼしています。

こうした中、区といたしましては、本区が持つポテンシャルを最大限に引き出し、住み、働き、集うすべての人々が幸せを実感し、誇りをもてる都心「中央区」を実現してまいりたいと考えておりますので、貴協議会の皆様には一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、中央区社会福祉協議会のますますのご発展と関係各位のご健勝・ご多幸・ご活躍を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

法人化60周年を祝して

中央区議会議員

木村 克一



中央区社会福祉協議会法人化60周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。心からお慶び申し上げます。

貴社会福祉協議会は、昭和28年に任意団体として発足後、昭和37年に社会福祉法人として認可を受け今日に至りました。この間における歴代の会長様をはじめ、役員並びに職員の皆様方、さらには会員の皆様方の社会福祉に対する深いご理解とご尽力に対して、区議会を代表いたしまして、深甚なる敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます次第であります。

また、法人化60周年記念式典にて表彰の栄誉に浴された皆様は、いずれも社会福祉の向上に永年にわたりご貢献され、地域の要とされている方々であります。重ねて受賞をお祝い申し上げます。

近年、全国的に地域や家族とのつながりの希薄化が問題となっている中、コロナ禍によりさらなる社会的孤立を余儀なくされている方もいらっしゃいます。

貴社会福祉協議会では、そうしたお困りの

方に寄り添い、支援に努められてきました。

また、誰もが住み慣れた地域で安心して快適な暮らしができるよう、在宅福祉、障害者就労やボランティア活動支援など、各種の地域福祉活動を展開されてこられましたことは、福祉のまちづくりへの大きな力となっております。

60年という大きな節目を契機として、今後とも福祉事業の担い手として、区民福祉の向上に、さらなるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、皆様方のご健勝をお祈り申し上げますとともに、貴社会福祉協議会のますますのご発展を祈念いたしまして、ご挨拶いたします。

中央区社会福祉協議会 法人化60周年を祝して

中央区民生・児童委員協議会 代表会長
小村 眞理



このたび、中央区社会福祉協議会が法人化60周年という記念すべき年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

さて、わが国では、少子高齢化や核家族化の進展、生活様式の多様化等により地域で暮らす私たちの生活課題は複雑化・複合化しています。また、3年にわたるコロナ禍を経て、人と人とのつながりや支えあいのあり方は大きく変化いたしました。

このような状況において、貴会では「さまざまなつながりと支えあいをはぐくむ」を基本理念とする「第2期地域福祉活動計画」に基づき、「勝どきデイルーム」「はまる一む」を拠点とする多世代交流や住民主体による多様な地域活動の支援をはじめ、支えあいの地域づくりを着実に進めておられます。

一方、私たち中央区民生・児童委員協議会は、平成29年の民生委員制度創設100周年を機に、地域共生社会の実現に向け、常に区民の立場に立ち、行政とのパイプ役としての活動に一層取り組むとともに、貴会をはじめ、ボランティア・NPOなど、多様な団体

と協働しながら地域福祉の推進に努めているところです。

今後も、貴会と中央区民生・児童委員協議会が「車の両輪」として共に手を携え、さらなる地域福祉の向上を目指してまいりたいと存じます。

結びに、中央区社会福祉協議会の今後のますますのご発展と会員の皆様方、事務局の方々のご健勝を中央区民生・児童委員協議会一同、心から祈念いたしましてお祝いのご挨拶とさせていただきます。

社協・区・社会のできごと60年

※太字は（ ）のページに関連写真あり

| 年 | 社会福祉協議会のできごと | 区・社会のできごと ※黒字：区 青字：社会 |
|---------------|--|--|
| 昭和28年 1953 | <ul style="list-style-type: none"> ◆5月 ・中央区社会福祉協議会設立 会長 山本泰介就任 中央区域内の社会福祉事業の能率的運営と組織活動を促進し、もって地域社会福祉の増進を図るため、地域住民を主体とする民間の自主組織として設立された。 | <ul style="list-style-type: none"> ・区広報紙「中央区広報」創刊(4月) ・改正民生委員法により新しい民生委員委嘱(12月) ・第1回中央区商業まつり開催(12月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮戦争休戦協定調印(7月) |
| 昭和37年 1962 | <ul style="list-style-type: none"> ◆9月 ・4日に社会福祉法人として認可を受け、10日に法人設立登記を行う 会 長 高橋興作就任 基本財産 30万円 事 務 所 中央区明石町41番地(中央区役所3階福祉事務所) | <ul style="list-style-type: none"> ・宇佐美臨海学園開設(7月) ・小諸高原学園開設(8月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・東京常住人口世界最初の一千万大都市に(2月) ・アメリカ、キューバ封鎖声明(10月) |
| 昭和38年 1963 | <ul style="list-style-type: none"> ◆2月 ・「中央区社協だより」第1号発刊(P13) | <ul style="list-style-type: none"> ・月島地域に豊海町誕生(4月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉法公布(7月) ・ケネディ大統領暗殺(11月) |
| 昭和39年 1964 | <ul style="list-style-type: none"> ◆4月 ・老人福祉についての調査実施 ◆10月 ・東京都社会福祉大会にて優良社会福祉協議会として表彰される | <ul style="list-style-type: none"> ・佃大橋竣工開通、佃の渡し廃止(8月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・母子福祉法公布(7月) ・東海道新幹線開業(10月) ・東京でオリンピック・パラリンピック開催(10月) |
| 昭和42年 1967 | <ul style="list-style-type: none"> ◆7月 ・中央区社会福祉協議会・京橋遺族会・日本橋遺族厚生会合同の盂蘭盆大法要、築地本願寺にて実施(P13) ◆9月 ・歌舞伎座にて法人化5周年記念総会開催 | <ul style="list-style-type: none"> ・区政施行20周年式典挙行(7月) ・住民基本台帳制度実施(11月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・「愛の手帳」制度創設(東京都)(3月) |
| 昭和44年 1969 | <ul style="list-style-type: none"> ◆12月 ・区役所新庁舎完成に伴い事務所移転 中央区築地1丁目1番1号区庁舎4階 | <ul style="list-style-type: none"> ・心身障害者扶養年金制度、東京都交通遺児手当制度実施(4月) ・区役所新庁舎落成式(11月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・アポロ11号人類初の月面着陸(7月) ・老人医療無料化(東京都)(12月) |
| 昭和47年 1972 | <ul style="list-style-type: none"> ◆6月 ・若年母子レクリエーション開始 ◆11月 ・法人化10周年記念総会開催(区役所8階大会議室)(P13) | <ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上の高齢者に「寿手帳」配布(8月) ・区内から都電の姿消える(11月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・児童手当制度実施(1月) ・札幌冬季オリンピック開催(2月) ・沖縄返還(5月) |
| 昭和53年 1978 | <ul style="list-style-type: none"> ◆11月 ・高橋興作会長退任、青山千代造副会長が職務代行 ・会長 横田勉就任 | <ul style="list-style-type: none"> ・重度身体障害者への福祉電話貸与と電話料金助成開始(4月) ・身体障害者自動車改造費及び自動車運転教習費助成開始(4月) |
| 昭和57年 1982 | <ul style="list-style-type: none"> ◆11月 ・法人化20周年記念式典開催(中央区役所8階大会議室)(P14) | <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児緊急一時保護援助事業、母子・父子家庭及び心身障害者家庭家事援助事業開始(6月) ・中央保健所・福祉センター・教育センター・明石町保育園複合施設落成(12月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・500円硬貨発行(4月) ・老人保健法公布(8月) |
| 昭和61年 1986 | <ul style="list-style-type: none"> ◆1月 ・横田勉会長逝去 ◆2月 ・会長 村田長兵衛就任 ◆7月 ・「中央区社協発展計画」に基づき、定款の改正 ①役員等定数削減 ②評議員会を議決機関とし、組織体制を強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・新国民年金制度スタート(4月) ・ボランティア保険制度創設(4月) ・休日応急診療所・休日応急歯科診療所開始(4月) ・伊豆の大島町避難民1950人を受入開始(11月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・新年金制度スタート(4月) ・伊豆大島三原山噴火(11月) |

※太字は()のページに関連写真あり

| 年 | 社会福祉協議会のできごと | 区・社会のできごと ※黒字：区 青字：社会 |
|---------------|---|--|
| 昭和63年 1988 | <ul style="list-style-type: none"> ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア担当設置 ◆11月 <ul style="list-style-type: none"> ・「ボランティアコーナーだより」第1号発刊 | <ul style="list-style-type: none"> ・中央区平和都市宣言(3月) ・月島特別出張所等複合施設落成式(4月) ・第1回東京湾大華火祭開催(8月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・青函トンネル開通(3月) ・瀬戸大橋開通(4月) |
| 平成元年 1989 | <ul style="list-style-type: none"> ◆9月 <ul style="list-style-type: none"> ・区との共催により介護機器フェアを開催 | <ul style="list-style-type: none"> ・第1回雪まつり開催(2月) ・緊急通報システム事業開始(7月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和天皇崩御(1月) ・消費税導入(4月) ・高齢者保健福祉推進10カ年戦略(ゴールドプラン)合意(12月) |
| 平成2年 1990 | <ul style="list-style-type: none"> ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアコーナー開設 ・中央区視覚障害者ガイドヘルパー派遣事業(委託事業)開始 | <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭医療費助成制度開始(4月) ・第1回大江戸まつり盆おどり大会開催(8月) ・第1回産業文化展開催(10月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・東西ドイツ統一(10月) |
| 平成3年 1991 | <ul style="list-style-type: none"> ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・区役所八丁堀分行舎へ事務所移転(中央区八丁堀4丁目1番5号) ・中央区ボランティアセンター開設 | <ul style="list-style-type: none"> ・区のシンボルマーク告示(4月) ・特別養護老人ホーム・高齢者在宅サービスセンター「マイホームはるみ」等複合施設落成式(6月) ・山形県東根市と友好都市提携(7月) ・オーストラリアのサザランド市と姉妹都市提携(7月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都、新庁舎開庁(4月) ・長崎雲仙普賢岳大規模火砕流発生(6月) ・ソ連邦消滅を宣言(12月) |
| 平成4年 1992 | <ul style="list-style-type: none"> ◆3月 <ul style="list-style-type: none"> ・村田長兵衛会長逝去 ・会長 筑間正雄就任 ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・管理部、在宅福祉サービス部及び障害者就労促進部の3部制に組織整備 ◆7月 <ul style="list-style-type: none"> ・障害者就労促進事業の会員募集、事業開始 ◆10月 <ul style="list-style-type: none"> ・法人化30周年記念式典開催(中央区役所8階大会議室)(P14) ◆12月 <ul style="list-style-type: none"> ・有償家事援助サービス(虹のサービス)開始 | <ul style="list-style-type: none"> ・在宅重度障害者の介護慰労事業開始(4月) ・区政情報のテレホンサービス開始(7月) ・銀プラバスの循環運行開始(7月) ・区民健康村「ヴィラ本栖」開設(8月) ・月島地区築島百周年記念事業開催(10月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・老人訪問看護制度開始(4月) ・学校週5日制開始(第2・4土曜日休み)(9月) |
| 平成5年 1993 | <ul style="list-style-type: none"> ◆3月 <ul style="list-style-type: none"> ・使用済み切手収集開始 ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア基金設置 ・手話通訳派遣事業開始 ◆11月 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回福祉まつりを福祉センター・あかつき公園にて開催(中央区との共催) | <ul style="list-style-type: none"> ・住民票の自動交付開始(1月) ・満3歳未満の医療費助成開始(4月) ・女性センター「ブーケ21」オープン(4月) ・中央大橋開通(8月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・皇太子殿下、雅子様結婚の儀(6月) ・欧州連合条約発効(11月) |
| 平成6年 1994 | <ul style="list-style-type: none"> ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア協力校助成開始 ◆9月 <ul style="list-style-type: none"> ・障害者就労促進施設「さわやかワーク中央」開設(P21) ・「中央区社協だより」を「かけはし中央」へ名称変更(P15) ・筑間正雄会長退任 ・会長 岡村信一郎就任 ◆12月 <ul style="list-style-type: none"> ・中央区社会貢献企業連絡会(中央ぶらなっと)発足(P17) | <ul style="list-style-type: none"> ・日本橋小学校・月島第三小学校複合施設オープン(4月) ・日本橋保健所等複合施設オープン(12月) ・リサイクル活動の拠点施設として「リサイクルハウスかざぐるま」オープン(12月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率14%を超え、高齢社会へ突入(1月) ・「今後の子育て支援のための施策の基本的方向について(エンゼルプラン)」策定(12月) ・「高齢者保健福祉推進10カ年戦略の見直しについて(新ゴールドプラン)」策定(12月) |

社協・区・社会のできごと60年

※太字は（ ）のページに関連写真あり

| 年 | 社会福祉協議会のできごと | 区・社会のできごと ※黒字：区 青字：社会 |
|---------------|--|---|
| 平成7年 1995 | <ul style="list-style-type: none"> ◆1月 <ul style="list-style-type: none"> ・阪神・淡路大震災被災地へ支援活動 ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・在宅福祉サービス部、給食サービス開始（区から受託） ・ボランティア情報紙『ボランティアセンターだより』月刊化 | <ul style="list-style-type: none"> ・阪神・淡路大震災被災地へ支援活動（1月） ・日本橋休日応急診療所等複合施設オープン（5月） ・山形県東根市と災害相互援助協定締結（7月） ・乳幼児医療費助成制度を小学校就学前（6歳児）まで拡大（10月） <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・阪神・淡路大震災発生（1月） ・地下鉄サリン事件発生（3月） ・「障害者プランナーノーマライゼーション7カ年戦略」策定（12月） |
| 平成8年 1996 | <ul style="list-style-type: none"> ◆3月 <ul style="list-style-type: none"> ・ハンディキャプ貸出事業開始 ・中央区地域福祉活動計画「かけはしプラン中央」策定 ◆11月 <ul style="list-style-type: none"> ・岡村信一郎会長退任 ・会長 倉橋良二就任 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災医療マップ区内全戸配布（7月） ・岡山県玉野市と災害相互援助協定締結（7月） ・初の夜間防災訓練の実施（蠟燭町公園にて）（8月） ・総合スポーツセンターオープン（9月） <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・日本、国連安保理非常任理事国に当選（10月） |
| 平成9年 1997 | <ul style="list-style-type: none"> ◆3月 <ul style="list-style-type: none"> ・「ふれあい福祉委員会」による小地域ネットワーク活動開始（P15） ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・給食サービスを、区の補助金による補助事業「ひとり暮らし食事サービス」に移行（P15） ◆7月 <ul style="list-style-type: none"> ・食事サービスを週2食提供開始 | <ul style="list-style-type: none"> ・印鑑登録自動交付機稼働（1月） ・区政施行50周年記念式典を中央会館にて開催（3月） ・中央区基本構想審議会発足（3月） ・24時間巡回型ホームヘルプサービス開始（4月） <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・消費税が3%から5%へ引き上げ（4月） |
| 平成10年 1998 | <ul style="list-style-type: none"> ◆9月 <ul style="list-style-type: none"> ・理事定数を19名から15名に定款変更 ◆10月 <ul style="list-style-type: none"> ・かけはしプラン中央に基づく「福祉講座」開始 | <ul style="list-style-type: none"> ・中央区内人口が45年ぶりに増加（前年比297人増）（1月） ・「中央区基本構想」策定（6月） <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・長野冬季オリンピック（2月） ・「特定非営利活動促進法（NPO法）」成立（3月） ・法律用語の「精神薄弱」を「知的障害」に改正（9月） |
| 平成11年 1999 | <ul style="list-style-type: none"> ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・24時間緊急通報支援サービス開始 ・コンビニ宅配サービス開始 ◆7月 <ul style="list-style-type: none"> ・在宅福祉サービス部、中央区役所八丁堀分庁舎に移転 ◆10月 <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉権利擁護事業開始 ・介護保険シンポジウムを京橋プラザにて開催（中央区との共催） | <ul style="list-style-type: none"> ・「安心・快適・躍動'99」中央区基本計画策定（2月） ・中央区行政改革大綱策定（2月） ・日本橋区民センター業務開始（5月） ・京橋プラザ（住宅、区民館、コミュニティルーム）開設（7月） ・介護保険認定申請受付開始（10月） <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・「今後の5か年間の高齢者保健福祉施策の方向（ゴールドプラン21）」策定（12月） ・「重点的に推進すべき少子化対策の具体的実施計画について（新エンゼルプラン）」策定（12月） |
| 平成12年 2000 | <ul style="list-style-type: none"> ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護支援センター「すてっぷ中央」開設 ・居宅介護支援事業所「あおぞら」開設 ◆7月 <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護支援センター、財産保全サービス等開始 ◆8月 <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み福祉・ボランティア体験講座（イナッこ教室）の実施（P17） ◆10月 <ul style="list-style-type: none"> ・食事サービス、対象者を高齢者世帯及び昼間独居高齢者まで拡大 | <ul style="list-style-type: none"> ・十思スクエア・京華スクエアオープン（1月） ・中央区保健医療福祉計画策定（3月） ・中央区環境保全行動計画策定（4月） <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度開始（4月） ・児童虐待防止法成立（5月） ・社会福祉法成立（5月） ・三宅島噴火災害、全島民が島外避難（9月） ・沖縄サミット開催（7月） |

※太字は()のページに関連写真あり

| 年 | 社会福祉協議会のできごと | 区・社会のできごと ※黒字：区 青字：社会 |
|---------------|--|--|
| 平成13年 2001 | <ul style="list-style-type: none"> ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー・サポート・センター開設 (P19) ◆5月 <ul style="list-style-type: none"> ・会員区分に法人会員を新設 ・会食と交流事業「ほがらかサロン」開設 (P18) ・知的障害者ガイドヘルパー派遣事業開始 ◆11月 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア国際年記念「中央区福祉まつり2001」開催(中央区との共催) | <ul style="list-style-type: none"> ・中央区地球温暖化対策実行計画策定(1月) ・12年ぶりに中央区の人口8万人台を回復(1月) ・中央保健所と日本橋保健所とが統合し、「中央区保健所」となる(4月) ・ごみの「ふれあい収集」開始(4月) ・中央区男女共同参画行動計画策定(6月) ・中央清掃工場本稼働開始 温浴プラザ「ほっとプラザはるみ」オープン(8月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・中央省庁再編(1府12省庁)(1月) ・アメリカ同時多発テロ発生(9月) ・皇太子殿下・雅子様に愛子様誕生(12月) |
| 平成14年 2002 | <ul style="list-style-type: none"> ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・情報公開制度の実施 ・苦情解決制度の実施 ・シルバーカーの貸出開始 ・ホームページ開設 ・食事サービス事業を区からの受託事業に移行、週5食提供 ◆7月 <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の設置経営(浜町三丁目遺贈財産土地活用) ◆9月 <ul style="list-style-type: none"> ・倉橋良二会長退任 ・会長 柴崎仁久就任 ◆10月 <ul style="list-style-type: none"> ・会食と交流事業「ほがらかサロン日本橋」開設(日本橋社会教育会館) ・法人設立40周年記念式典開催(銀座プロッサム)(P15) | <ul style="list-style-type: none"> ・中央区環境方針制定(1月) ・中央区都心再生会議発足(6月) ・月島保健センター・月島保育園複合施設オープン ・窓口時間延長(水曜日)試行(7月) ・環境マネジメント国際標準規格ISO14001の認証取得(11月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・欧州通貨統一(ユーロ)(1月) ・日韓共催サッカーワールドカップ(6月) ・住民基本台帳ネットワーク稼働(8月) ・日朝首脳会談 拉致被害者5人帰国(10月) |
| 平成15年 2003 | <ul style="list-style-type: none"> ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア区民活動センター開設(管理部ボランティアセンターから組織整備) ・「移動介護サービスセンター」開設 ・視覚障害者及び知的障害者移動介護サービス事業(支援費事業)開始 ・長期生活支援資金貸付制度(リバースモーゲージ)、緊急小口資金貸付制度の実施(東京都社会福祉協議会からの受託事業) ・共に支え合う社会づくり募金箱の設置 ・福祉サービス総合支援事業への取り組み開始 ・食事サービス週6食提供に拡大 ◆12月 <ul style="list-style-type: none"> ・登録ボランティア実態・意向調査の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・中央区江戸開府400年記念事業オープニングイベント開催(浜離宮恩賜庭園)(1月) ・窓口時間延長(水曜日)本格実施(1月) ・歩行喫煙・ポイ捨て防止キャンペーン始まる(1月) ・江戸開府400年記念シンポジウム開催(6月) ・住民基本台帳ネットワークシステム本格稼働開始(8月) ・江戸ルネッサンス会議2003開催(12月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・日本郵政公社発足(4月) ・宮城県沖地震発生(5月) ・世界人口63億人に達する(11月) |
| 平成16年 2004 | <ul style="list-style-type: none"> ◆2月 <ul style="list-style-type: none"> ・会食と交流事業「ほがらかサロン京橋」開設 ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度導入への取り組み開始 ・「さわやかワーク中央」、職場適応援助事業を開始 | <ul style="list-style-type: none"> ・NPO・ボランティア団体交流サロン開設(十思スクエア)(2月) ・中央区の人口が23年ぶりに9万人台を回復(3月) ・介護老人保健施設「リハポート明石」、知的障害者生活支援施設「レインボーハウス明石」、明石在宅介護支援センターオープン(7月) ・子育て交流サロン「あかちゃん天国」開設(7月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・浅間山21年ぶり噴火(9月) ・新潟県中越地震(10月) |
| 平成17年 2005 | <ul style="list-style-type: none"> ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・安否見守り支援システムのあっせん・助成開始 ・成年後見制度利用支援事業開始 ・中央区障害者就労支援センター開設 ◆10月 <ul style="list-style-type: none"> ・「さわやかワーク中央」、点字名刺作成事業開始 ・「中央区福祉まつり」改め「中央区健康福祉まつり」開催(P17) | <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの居場所(プレディ)」を月島第三小学校、豊海小学校に開設(4月) ・「まちかどグリーンデー」開始(7月) ・認知症高齢者グループホーム等複合施設「相生の里」オープン(10月) ・郷土天文館「タイムドーム明石」開館(12月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護法施行(4月) ・平成の大合併50市町誕生(10月) ・障害者自立支援法成立(10月) ・耐震強度偽装問題(11月) |

社協・区・社会のできごと60年

※太字は（ ）のページに関連写真あり

| 年 | 社会福祉協議会のできごと | 区・社会のできごと ※黒字：区 青字：社会 |
|----------------------|---|--|
| 平成18年 2006 | <ul style="list-style-type: none"> ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・「いきいき地域サロン」活動の支援開始 ・「すてっぷ中央」を権利擁護センターから成年後見支援センターへ拡充(P16) ◆9月 <ul style="list-style-type: none"> ・イメージキャラクター「ニジノコ」制定(P16) ◆10月 <ul style="list-style-type: none"> ・要約筆記者の派遣を開始 ◆11月～12月 <ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害者ガイドヘルパー養成講座を実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・中央区の人口が昭和50年以来31年ぶりに10万人を達成(4月) ・明石幼稚園、月島第一幼稚園で、預かり保育開始(4月) ・西多摩郡檜原村と地球温暖化対策事業「中央区の森」協定締結(10月) ・日本郵政株式会社発足(1月) ・秋篠宮様・紀子様に悠仁様誕生(9月) |
| 平成19年 2007 | <ul style="list-style-type: none"> ◆9月～10月 <ul style="list-style-type: none"> ・企業の社会貢献活動に関する意識・意向調査の実施 ◆10月 <ul style="list-style-type: none"> ・「さわやかワーク中央」、就労継続支援B型施設へ移行 | <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県銚子市と災害時相互援助協定締結(1月) ・中央区政施行60周年記念式典(3月) ・小・中学生の通院に要する費用を助成開始(6月) ・清洲橋、永代橋、勝鬃橋が国の重要文化財に指定(6月) ・子ども家庭支援センター「きらら中央」開設(9月) ・万能細胞(iPS細胞)作製に成功(11月) |
| 平成20年 2008 | <ul style="list-style-type: none"> ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア受入マニュアル作成 ・食事サービス対象者拡大、65歳から69歳の要支援・要介護認定者についてもサービスを開始 ◆8月 <ul style="list-style-type: none"> ・生活安定応援事業を開始 ◆10月 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者無料職業紹介所「シルバーワーク中央」の運営開始(P16) ◆12月 <ul style="list-style-type: none"> ・「ちゅうおうボラネット」(中央区登録ボランティア連絡協議会)発足 | <ul style="list-style-type: none"> ・「中央区平和祈念バーチャルミュージアム」開設(1月) ・広報テレビ番組「こんにちは 中央区です」の放送を開始(7月) ・総合防災訓練(東京都・江東区合同)実施(8月) ・中央区の人口が昭和47年以来36年ぶりに11万人を達成(9月) ・中央区まるごとミュージアムを開催(第1回)(11月) ・後期高齢者医療制度スタート(4月) |
| 平成21年 2009 | <ul style="list-style-type: none"> ◆2月 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者合同就職面接会を区及びハローワークとの共催により実施 ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者食事サービス、週6日から週7日へ拡大 ◆5月 <ul style="list-style-type: none"> ・障害者就労支援センター、余暇支援事業(ニコニコドットコム)開始(P16) ◆10月 <ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉資金貸付事業の見直し(総合支援資金の創設、連帯保証人要件の緩和、貸付利率の引下げ) ・登録手話通訳者養成コース開始 | <ul style="list-style-type: none"> ・第1回中央区観光検定を実施(2月) ・中央区子育て支援対策本部設置(8月) ・中央区コミュニティバス「江戸バス」運行開始(12月) ・オバマ氏、第44代米大統領に就任(1月) ・裁判員制度スタート(5月) |
| 平成22年 2010 | <ul style="list-style-type: none"> ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・「まちひとサイト」開設 ◆12月 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページリニューアル | <ul style="list-style-type: none"> ・「協働ステーション中央」開設(十思スクエア)(4月) ・人形町保育園等複合施設オープン(10月) ・チリ落盤事故で地下700mから33名救出(10月) |
| 平成23年 2011 | <ul style="list-style-type: none"> ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者食事サービス、昼食に加え夕食の配食も開始 ・生活安定応援事業を見直し、受験生チャレンジ支援貸付事業開始 ◆9月 <ul style="list-style-type: none"> ・柴崎仁久会長逝去、小堀章三副会長が職務代理 ◆11月 <ul style="list-style-type: none"> ・会長 日比浩就任 | <ul style="list-style-type: none"> ・東京ベイネットワーク(株)と「災害・防災情報等の放送に関する協定」を締結(7月) ・平和モニュメント完成披露式(月島第二児童公園)(8月) ・還暦のつどい開催(銀座プロッサム)(10月) ・緊急告知ラジオ助成開始(11月) ・東日本大震災発生(3月) |
| 平成24年 2012 | <ul style="list-style-type: none"> ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア支援事業(ボランティア保険の保険料助成)開始 ◆10月 <ul style="list-style-type: none"> ・会食と交流「ほがらかサロン月島」開設 ◆12月 <ul style="list-style-type: none"> ・法人化50周年記念講演会・式典開催(日本橋公会堂)(P16) | <ul style="list-style-type: none"> ・中央区コミュニティバス「江戸バス」乗車100万人達成(3月) ・東京スカイツリー完成(2月) ・ロンドンオリンピックで、日本が過去最多のメダル獲得(8月) |

※太字は()のページに関連写真あり

| 年 | 社会福祉協議会のできごと | 区・社会のできごと ※黒字：区 青字：社会 |
|---------------|---|--|
| 平成25年 2013 | <ul style="list-style-type: none"> ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者食事サービス、特別食の配食を開始 ・障害者就労支援センター、地域開拓促進事業を開始 ・災害ボランティアセンター運営マニュアル作成 ◆9月 <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア講座を実施 ・企業向け障害者就労支援セミナー実施(P21) | <ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎座が新開場(4月) ・障害者地域活動支援センター「ポケット中央」開設(10月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者総合支援法施行(4月) ・富士山、世界文化遺産登録決定(6月) |
| 平成26年 2014 | <ul style="list-style-type: none"> ◆3月 <ul style="list-style-type: none"> ・障害当事者向け就労支援セミナー実施 ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・新社会福祉法人会計基準を制定 ・就労支援センター、福祉サービス等利用計画の作成開始 ・さわやかワーク中央、利用対象者に精神障害者(発達障害を含む)を追加 ・フェイスブックページを開設 ◆11月 <ul style="list-style-type: none"> ・日比浩会長退任 ・会長 中野耕佑就任 | <ul style="list-style-type: none"> ・明正小学校等複合施設竣工(7月) ・築地本願寺本堂他、国の重要文化財に指定(12月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人男性の平均寿命が初の80歳超え(7月) ・御嶽山噴火(9月) ・はやぶさ2打ち上げ成功(12月) |
| 平成27年 2015 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉資金貸付事業の見直し(一部について自立相談支援事業の利用が要件化) | <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティサイクル事業実証実験開始(10月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸新幹線開業(3月) ・生活困窮者自立支援法施行(4月) ・介護保険法改正(4月) ・マイナンバー法施行(10月) |
| 平成28年 2016 | <ul style="list-style-type: none"> ◆1月 <ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献型後見人養成研修を港区社会福祉協議会との共催により実施(P19) ◆3月 <ul style="list-style-type: none"> ・中央区地域福祉活動計画(計画期間：平成28年～令和2年度)、社協発展・強化計画を策定(P17) ◆7月 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者食事サービスの配食委託業者を1社から2社に変更 ◆9月 <ul style="list-style-type: none"> ・中央区社会福祉法人連絡会を開催(参加10法人) ◆10月 <ul style="list-style-type: none"> ・ニジノコ着ぐるみを作成(P22) | <ul style="list-style-type: none"> ・中央区基本構想審議会発足(2月) ・豊海小学校・豊海幼稚園竣工(7月) ・中央区観光情報センター開設(11月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者差別解消法施行(4月) ・熊本地震発生(4月) ・改正公職選挙法施行、18歳に選挙権(6月) ・65歳以上の総人口が4分の1超え(6月) ・「山の日」新たな祝日に(8月) |
| 平成29年 2017 | <ul style="list-style-type: none"> ◆3月 <ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画(BCP)を策定 ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・管理部に地域ささえあい課を新設、地域福祉コーディネーター・生活支援コーディネーター(区委託)を配置 ・「かけはし中央」を「中央区社協だより(かけはし中央)」へ名称変更 ◆6月 <ul style="list-style-type: none"> ・勝どきデイルームで「おとなりカフェ・ちょこっと相談会」開始(P20) ◆7月 <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉充実計画(平成29年度～令和4年度)を策定 ◆8月 <ul style="list-style-type: none"> ・中央区地域支えあいづくり協議体発足(P20) ・ひとり親家庭日帰りバス研修を管理部庶務課から在宅福祉サービス部推進課へ移管 | <ul style="list-style-type: none"> ・中央区の人口が55年ぶりに15万人を突破(1月) ・中央区防災マップアプリ配信開始(8月) ・中央区版ふるさと納税「ふるさと中央区応援寄附」開始(12月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・米大統領にトランプ氏就任(1月) ・改正社会福祉法施行(4月) ・上野動物園でパンダ誕生(6月) ・国連で核兵器禁止条約採択(7月) |
| 平成30年 2018 | <ul style="list-style-type: none"> ◆3月 <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人連絡会、「ボッチャ体験&福祉相談会」及び「福祉体験合宿」を開催 ◆7月 <ul style="list-style-type: none"> ・ささえあいサポーター養成講座を実施 ◆10月 <ul style="list-style-type: none"> ・場づくり入門講座を実施 ◆11月 <ul style="list-style-type: none"> ・「地域の居場所づくり助成」制度を創設 | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども発達支援センター「ゆりのき」開設(4月) ・築地市場が83年の歴史に幕(10月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業の障害者雇用、過去最高に(4月) ・「子ども食堂」が全国で2,000カ所超え(4月) ・史上初の米朝首脳会談(6月) ・大阪北部地震発生(6月) ・埼玉県熊谷市で観測史上国内最高気温41.1度を記録(7月) ・北海道胆振東部地震発生(9月) |

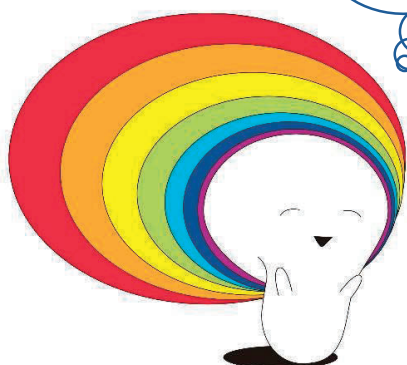
社協・区・社会のできごと60年

※太字は()のページに関連写真あり

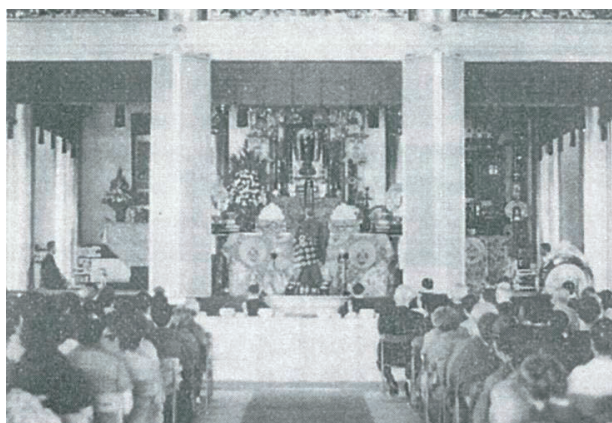
| 年 | 社会福祉協議会のできごと | 区・社会のできごと ※黒字:区 青字:社会 |
|------------------------------|--|---|
| 平成31年 令和元年 2019 | <ul style="list-style-type: none"> ◆1月 <ul style="list-style-type: none"> ・中央区サロンマップ作成・発行 ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・ハンディキャブ貸出事業をボランティア・区民活動センター推進課から在宅福祉サービス部推進課へ移管 ・いきいき地域サロンを在宅福祉サービス部推進課から管理部地域ささえあい課へ移管 ◆7月 <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンサポート入門講座を実施 ◆12月 <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアセンター運営訓練を実施(P18) | <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防プログラム「中央絆なまちトレーニング」開発(3月) ・銀座一丁目認可保育所等複合施設竣工(8月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・新元号「令和」(4月) ・24年ぶりに紙幣デザイン刷新(4月) ・消費税10%スタート(10月) ・訪日外国人旅行者が3,000万人超え(12月) |
| 令和2年 2020 | <ul style="list-style-type: none"> ◆3月 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金特例貸付事業開始 ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい福祉委員会を在宅福祉サービス部から管理部地域ささえあい課へ移管(P20) ・シルバーワーク中央、「おとなりカフェ・ちょこっと相談会」での出張相談を開始 ◆7月 <ul style="list-style-type: none"> ・支えあいのまちづくり協議体(京橋・日本橋・月島)発足 ◆8月 <ul style="list-style-type: none"> ・「イナっこ教室」の代替として「イナっこエール便事業」を実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・首都高速道路日本橋区間地下化事業の開始(4月) ・阪東小学校新校舎竣工(7月) ・中央清掃事務所でフードドライブ開始(8月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が世界的大流行(3月) ・政府が布マスク配布(4月) ・「GO TO トラベル」キャンペーン開始(7月) |
| 令和3年 2021 | <ul style="list-style-type: none"> ◆1月 <ul style="list-style-type: none"> ・「ニジノコストラップ」の製造・販売開始(P21) ◆3月 <ul style="list-style-type: none"> ・第2期中央区地域福祉活動計画(計画期間:令和3年~8年度)、社協発展・強化計画を策定(P22) ◆6月 <ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流スペース「はまる一む」開設(P20) ◆7月 <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人連絡会、「おたよりでつなぐ“まごころ”プロジェクト」を実施 ◆7月 <ul style="list-style-type: none"> ・盂蘭盆法要、新型コロナウイルス感染防止策を講じ規模縮小により開催 ◆9月 <ul style="list-style-type: none"> ・障害者就労支援センター、当事者向け・企業向け合同セミナーをWEB配信により実施 ◆10月 <ul style="list-style-type: none"> ・「中央区健康福祉まつり2021」、新型コロナウイルス感染防止策を講じ規模縮小により開催(P18) ◆12月 <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護支援地域関係者ネットワーク連絡会を創設(P19) | <ul style="list-style-type: none"> ・「ゼロカーボンシティ中央区宣言」を表明(3月) ・新型コロナウイルスワクチン集団接種開始(5月) ・東京2020オリンピック選手村が晴海に開村(7月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・バイデン米大統領就任(1月) ・新型コロナウイルス感染拡大により1都3県に緊急事態宣言発令(1月) ・東京オリンピック・パラリンピック開催(7月) |
| 令和4年 2022 | <ul style="list-style-type: none"> ◆3月 <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉ワークショップを区と共催で実施 ◆4月 <ul style="list-style-type: none"> ・重層的支援体制整備移行準備事業の一部を区から受託 ◆6月 <ul style="list-style-type: none"> ・障害者就労促進部促進課を廃止し、「さわやかワーク中央」「障害者就労支援センター」を課として整備 ◆7月 <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭日帰りバス研修を3年ぶりに実施 ◆12月 <ul style="list-style-type: none"> ・法人化60周年記念式典開催(日本橋公会堂)(P23) ・公式LINEアカウントを開設 ・区内障害者就労支援事業所ネットワークによる共同受注(「本の森ちゅうおう」清掃)開始 | <ul style="list-style-type: none"> ・「中央区大江戸まつり」3年ぶりに開催(8月) ・城東小学校新校舎が完成(9月) ・「本の森ちゅうおう」開館(12月) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・強制不妊、国に賠償命令(2月) ・ロシア軍、ウクライナ侵攻(2月) ・子ども家庭庁設置法公布(6月) |

ニジノコとふりかえる ～中央区社協60年のあゆみ～

記念すべき第1号だ…
すべてはここから
始まったんだネ!



昭和38年「中央区社協だより」
第1号が発刊されました



築地本願寺での盂蘭盆大法要（昭和42年）

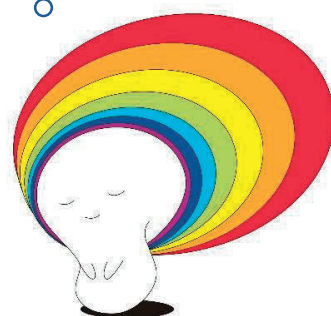
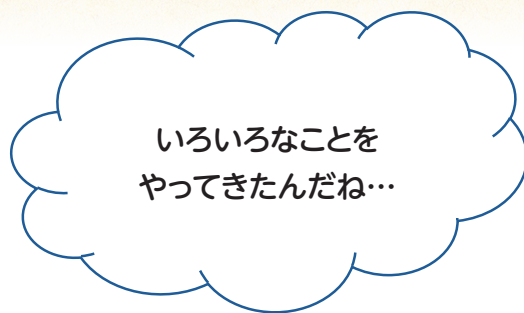
歴史を感じるね～



法人化10周年記念総会（昭和47年）



保護世帯慰安激励会（昭和54年）



中国帰国者懇談会（昭和58年）



左：法人化20周年記念式典（昭和57年）
下：法人化30周年記念式典（平成4年）

平成4年
初めて若手職員が入職して、
いよいよ新生社協の始まりだ！





「中央区社協だより」を
「かけはし中央」にリニューアル（平成6年）



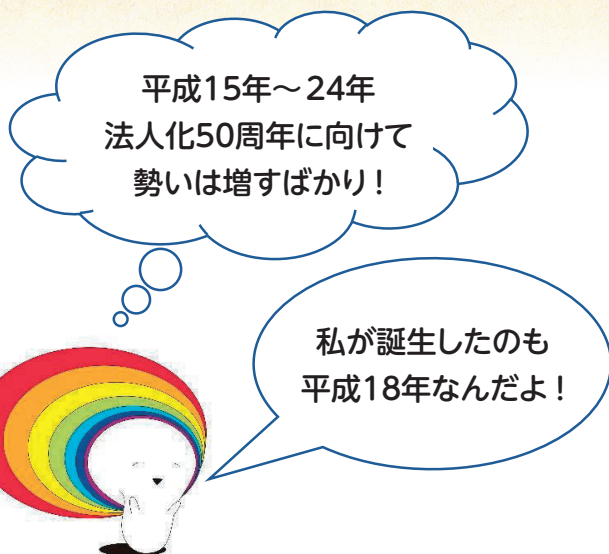
手作り弁当をボランティアがお届け（平成9年）



湊二丁目ふれあい福祉委員会でお花見（平成10年）



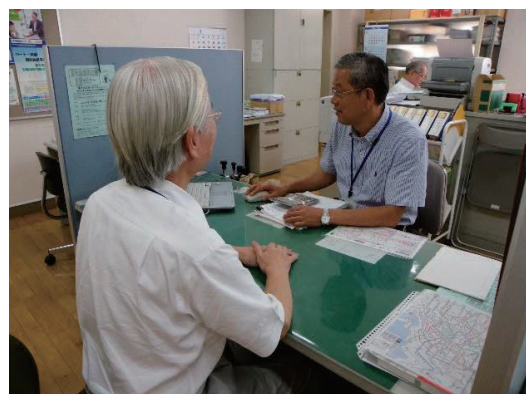
法人化40周年記念式典（平成14年）



成年後見支援センター「すてっぷ中央」による
権利擁護支援（平成18年）



ニジノコ誕生！（平成18年）



高齢者無料職業紹介所
「シルバーワーク中央」の運営開始（平成20年）



法人化50周年記念式典（平成24年）



働く障害者の居場所「ニコニコドットコム」（平成21年）

平成25年～令和4年
職員も増えて、いよいよ
「つながり」と「支えあい」の
地域づくりへパワー全開!!



夏休みボランティア体験「イナっこ教室」で
食事づくりボランティア



「中央区健康福祉まつり」フィナーレ

中央区地域福祉活動計画(H28～R2)策定
暮らす人も働く人も…
地域福祉は全員参加で!



中央ぶらねっと(中央区社会貢献企業連絡会)ワーキンググループによる清掃活動

「赤い羽根共同募金」は
主に福祉施設や団体に、
「歳末たすけあい」は地域福祉
推進のために使われるよ



「中央区健康福祉まつり2021」での募金活動



「災害ボランティアセンター」運営訓練

災害は平時からの
備えやつながりが
大事なんだね…



「ほがらかサロン」の活動風景



食事グループの活動の様子（かぼちゃの花）

住民同士の助け合い
活動はスキルアップや
仲間づくりが長続きの
コツなんだね！



ファミリー・サポート・センター会員向け講習会

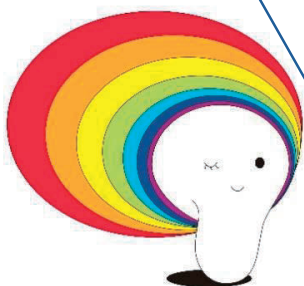


権利擁護支援地域関係者ネットワーク連絡会発足



生活支援員による日常的な
金銭管理サービスなどの訪問支援

成年後見制度は区民ボランティアから
専門職まで、困っている人の権利を
守るためにみんなが力を合わせて
取り組んでいるんだ



社会貢献型後見人（市民後見人）を
目指す方のための基礎講習



地域ささえあい課誕生！
平成29年～



左上：にこにこカレー食堂（勝どきデイルーム）
右上：おとなりカフェ・ちょこっと相談会（//）
左中：地域支えあいづくり協議体
右中：多世代交流スペース「はまるーむ」（令和3年6月～）
右下：新富町ふれあい福祉委員会の皆さん



つながりと支えあいの
地域づくりに奔走中！





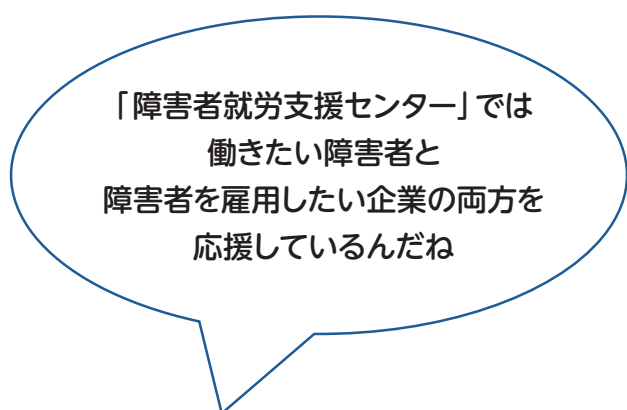
オープン当初から続く毎日の公園清掃



働く障害者のためのスキルアップ講座



ヒット商品「ニジノコストラップ」製作中



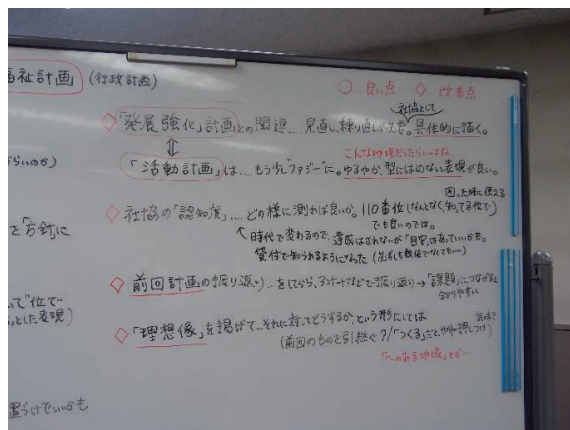
企業向け障害者就労支援セミナーの様子

ニジノコ着ぐるみ登場! (平成28年)



子どもたちに大人気!

第2期中央区地域福祉活動計画(令和3年～8年度)



策定にあたっては地域の皆さまからさまざまなご意見をいただきました



法人化60周年記念式典

令和4年12月9日(金) 日本橋公会堂(日本橋劇場)

式次第

- | | | |
|---|----------------------------|-----------------------------|
| 1 開会のことば | 中央区社会福祉協議会副会長 | 松岡 誠一郎 |
| 2 会長挨拶 | 中央区社会福祉協議会会長 | 中野 耕佑 |
| 3 感謝状贈呈 | | |
| 4 来賓祝辞 | 中央区長 中央区議会議員 東京都議会議員 | 山本 恭人様 木村 克一様 石島 ひでき様 |
| 5 記念演奏 | NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク | |
| <div>ミモザ弦楽四重奏団<ul style="list-style-type: none">・ 第1ヴァイオリン 前田 奈緒・ 第2ヴァイオリン 高橋 渚・ ヴィオラ 高橋 梓・ チェロ 印田 陽介</div> | | |
| 6 閉会のことば | 中央区社会福祉協議会副会長 | 古田島 幹雄 |



法人化60周年記念事業感謝状受賞者一覧（順不同・敬称略）

1 心温まるご寄附をいただいた方々

○個人

| | | | | |
|--------|-------|-------|-------------|-------|
| 梶原 幹雄 | 栗原 裕信 | 後藤 正昭 | 白土 千歳 | 鈴木 邑次 |
| 鈴木 久美子 | 鈴木 猛夫 | 田野 拓馬 | 中村 一好 | 林 義信 |
| 三谷 和美 | 薬本 光明 | 山内 高嘉 | 山崎 良夫・山崎 ゆき | |

○団体

| | |
|-----------------------|-----------------|
| 公益社団法人中央区医師会 | サンフロンティア不動産株式会社 |
| 一般社団法人東京都中央区京橋歯科医師会 | 太陽生命保険株式会社 |
| 公益社団法人お江戸日本橋歯科医師会 | タクト医療株式会社 |
| 一般財団法人明治神宮崇敬会京橋支部婦人部 | 中央区更生保護女性会 |
| 一般財団法人明治神宮崇敬会日本橋支部婦人部 | 中央区スポーツ推進委員協議会 |
| 一般社団法人銀座社交料飲協会 | 東洋証券株式会社 |
| NTT労組 東京・山梨社会福祉を進める会 | PWCあらた有限責任監査法人 |
| 株式会社かねまつ | フジ日本精糖株式会社 |
| 金亀糸業株式会社社員一同 | 有限会社三谷葬儀社 |
| 銀座料理飲食業組合連合会 | 立正佼成会千代田中央教会 |

2 長年にわたり障害のある方の支援に努められた方々

○運転ボランティア

伊藤 正章 内田 譲治 久 貴光 吉田 豊

○手話通訳者

浅野 美恵子 大塚 恵美子 加納 道子 佐野 和子

○ガイドヘルパー

清野 喜美 久保田 恵子 佐藤 富美子 芳賀 幸 渡邊 直美

3 長年にわたりボランティア団体として活動された団体

| | |
|---------------------|-------------------|
| 家で死ぬるまちづくり はじめの一步の会 | 中央区生涯学習コーディネーターの会 |
| 傾聴ボランティアグループうさぎの会 | 中央区女性海外研修者の会 |
| 子育てリーダーCHUO | 中央区文化財サポーター協会 |
| 手話サークル翼 | トルナーレライブクラブ |
| シンプル生活を楽しむ会 | ハッピーキャット |
| 大正琴すみれ会 | 浜町音頭保存会 |
| 中央おもちゃの病院 | 福祉教育サポーターV.O.L.O |
| 中央区環境保全ネットワーク | りぷりんと・中央区 |

4 長年にわたり住民同士の支えあい活動に尽力された方々

○「虹のサービス」協力会員

| | | | | |
|--------|-------|--------|-------|--------|
| 川口 美佐子 | 北島 直江 | 栗原 希代子 | 櫻澤 章子 | 島影 多見子 |
| 杉浦 良晴 | 鈴木 洋子 | 須藤 ひろ美 | 塚田 和美 | 登坂 公雄 |
| 藤井 香代子 | 松崎 仁美 | 屋代 三枝子 | 吉田 薫 | |

○「ファミリー・サポート・センター」提供会員

| | | | | |
|--------|-------|--------|-------|--------|
| 池田 美和 | 畦原 寿美 | 大口 佳奈恵 | 金井 明子 | 小出 美世子 |
| 佐藤 真由美 | 鈴木 克明 | 脇 恭子 | | |

○「すてっぷ中央」生活支援員

大谷 のぶ子

5 長年にわたり住民同士の支えあい活動に尽力された団体

○「ほがらかサロン」協力団体

| | | | |
|-----------|------------|-----------|----------|
| ほがらかサロン京橋 | ほがらかサロン日本橋 | ほがらかサロン月島 | ほがらかサロン佃 |
| だいこんの花 | たんぽぽ | りうの花 | |

○「食事サービス」協力団体

かぼちゃの花

○「ふれあい福祉委員会」

| | | | |
|-------------|-----------|------------|------------|
| 新富地区 | 湊一丁目地区 | 湊二丁目地区 | 茅場町二・三丁目地区 |
| 人形町二丁目一之部地区 | 箱崎町箱四地区 | 日本橋浜二地区 | 浜町二丁目金座地区 |
| 浜町三丁目東部地区 | 東日本橋一丁目地区 | 晴海ビュータワー地区 | |

6 長年にわたり「さわやかワーク中央」協力員として活動された方々

| | | | | |
|--------|-------|-------|----------|--------------------------|
| 小澤 喜美代 | 後藤 房江 | 小西 徳子 | 野原 操 | 野間 葉子 |
| 林 幸子 | 本間 早苗 | 圓井 幸子 | (久保田 恵子) | ()内は、複数の贈呈区分で功績のあった方です。 |

7 長年にわたり社会福祉協議会役員として尽力された方々

| | | | | |
|-------|--------|-------|-------|--------|
| 相澤 俊一 | 木皿儀 孝子 | 後藤 公夫 | 小西 茂之 | 小村 眞理 |
| 坂田 光司 | 瀧 常二 | 箱守 由記 | 平賀 淳子 | 前場 京子 |
| | | | | 松岡 誠一郎 |

～特別感謝状～

新型コロナウイルス感染症拡大防止などを通じて
地域医療の維持と中央区民の福祉向上に多大の貢献をされた医療関係機関・団体

公益社団法人中央区医師会
公益社団法人日本橋医師会
一般社団法人東京都中央区京橋歯科医師会
公益社団法人お江戸日本橋歯科医師会

一般社団法人京橋薬剤師会
一般社団法人日本橋薬剤師会
学校法人聖路加国際大学聖路加国際病院
医療法人社団健育会石川島記念病院



▲日頃から本会事業にご協力いただいた方々に感謝の気持ちを込めて、感謝状と記念品を贈呈しました。



▲特別感謝状を受賞された団体の皆様



▲記念演奏では、弦楽四重奏の美しい音色に会場がつつまれました。

法人化 60 周年記念座談会

～つながりと支えあいの地域づくり～

中央区社会福祉協議会では法人化60周年に先立ち、令和3年度から「さまざまなつながりと支えあいをはぐくむ～一人一人が自分らしく、安心して暮らせるまちを目指して」を基本理念とする「第2期中央区地域福祉活動計画」(計画期間：令和3～8年度)に取り組んでいます。この計画に掲げられた目指す地域の姿「①多様なつながりのある地域 ②みんなが活動に参加しやすい地域 ③「困った」に気づき、支援につなげる地域」の実現には、区民の皆様による多様で主体的な地域活動との連携・協働が欠かせません。

そこでこのたび、日頃から地域活動に熱心に取り組まれている4名の区民の方に、本会が地域活動拠点として運営する多世代交流スペース「はまる一む」にお集まりいただき、「つながりと支えあいの地域づくり」をテーマに座談会形式でお話を伺いました。

座談会メンバー



大谷 のぶ子さん

■ 京橋地域民生・児童委員
■ 明石町いきいき地域サロン代表



箕輪 愼さん

■ 傾聴ボランティアグループ「うさぎの会」代表
■ 福祉教育サポーター「VOLO」代表



鳴海 なほみさん

■ 通いの場「浜町カフェ」代表
■ 日本橋地域「支えあいのまちづくり協議体」サブリーダー



辻井 美帆さん

■ 勝どきデイルーム利用団体「不登校親の会 いっぽいぽ」代表

ご自身の活動について

大谷 私は京橋地域の民生委員やすてつぷ中央の社会貢献型後見人の活動のほかに、明石町いきいき地域サロンでは、「手作りして一緒に食べる」という会食の活動を9年くらい前から続けています。単身の高齢者は買ってきたお弁当を一人で食べることが多いと知って始めた活動ですが、5、6年経った頃に参加者から「話を聞いてほしい」と言われて、時間をかけてそういったつながりを作れたことはよ

かったと思いながら活動しています。この人ならこんな話をしてもいいかなと思ってもらえる、そんな関係づくりができればいいと思っています。

箕輪 私が主に関わっている活動は、傾聴ボランティアの「うさぎの会」です。15年ほど前に、社協主催の「傾聴ボランティア養成講座」を受講したのがきっかけです。職員の方から「せっかく講習を受けたのだから何か活動してみませんか?」と誘いがあり、紹介された高齢者施設で他の受講生たちと

活動を始めました。また小中学校に出向いてシニア体験やアイマスク体験の指導、お手伝いを行う福祉教育サポーター「VOLO」(ヴォロ)の活動も行っています。子どもたちが福祉体験を通して将来の自分や家族の姿を見られるというのは、意義のある活動ではないかと思っています。

鳴海 私は高齢者の通いの場「浜町カフェ」、地域の課題解決に向けて話し合う「支えあいのまちづくり協議体」、また「虹のサービス」や「ファミリー・サポート・センター」の活動もやらせていただいています。活動を通して、自分だけが楽しむのではなく、人と人のつながりが世代を超えて継承されていくような、そんな地域にしたいという思いがあります。また自分の中に〈チームワーク・ネットワーク・コミュニティワーク・スマイルワーク・ハートワーク〉という5つの「ワーク」を掲げ、浜町公園のラジオ体操にも毎朝5時に起きて指導しています。そこで地域の方の生の声を聞いて活かしながら、今後の活動に進んでいこうと思っています。

辻井 私は勝どきデイルームで不登校の親の会「いっぽいっぽ」の世話人をしています。学校に行かない、教室に入れないというお子さんをお持ちの親御さんたちが集まり、悩みを相談したり自分の経験を話したりしています。人の話を聴くだけで安心できる、参加してよかった、と皆さんおっしゃっています。私自身そうした集まりに参加した際、気持ちがすっきりして前向きになれたので、自分の住んでいる地域にもあるといいな、と思い、会を立ち上げました。

活動の中で感じている変化や気づき

鳴海 私が参加している毎朝のラジオ体操はコロナ禍でも続いています。夏休みには子どもたちも参加しますし、お年寄りも大勢来ています。最近ハマ



スクを外している人も増えてきましたが、中にはコロナに罹った方やコロナで生活にお困りの様子の方もいて、そういう人たちに自分は何ができるか考えた時、みんなで声をかけ合って、楽しく汗をかきながら体操することも大切なことと思っています。

大谷 私が民生委員の活動で調査のために訪問する時、「まあ、どうぞ」と家の中に案内されると、こちらは黙っていても1、2時間が過ぎます。「次もあるから帰りたい」とは言えない(笑)。みんなお話がしたいんですよ。コロナ禍で自粛ムードですけど、民生委員は話を聴くという名目で訪ねているので皆さんお話がとまらない(笑)。

鳴海 確かに「話をしたい、体を動かしたい」という人が多いですね。「浜町カフェ」もしばらくコロナ禍でお休みしていましたが、まもなく再開します(座談会開催日時点)。皆さん、喋りたい、会いたいんですよね。

辻井 私の活動も何かをするというより、誰かの話を聞いたり自分の話をすることで気持ちがすっきりしたとか吹っ切れたとか、そういう活動です。ただ家に帰れば子どもの状態は変わらないので、また気持ちが沈んで、でもまたみんなと話して気持ちがチャージされて、という好循環があればいいのかな、と思っています。コロナ禍でも緊急事態宣言中でなければ開催しました。

箕輪 変化ということであれば私の住んでいるマンションには最近お子さんが増えてきました。以前はエレベーターの中で挨拶しても返事がなかったのですが、めげずに挨拶を続けていたら最近はお向こうから挨拶してくれるようになりました。

鳴海 私も根気よく「おはよう!」と言い続けていたら返事がきました(笑)。私のことを覚えてくれて夏休みのラジオ体操にも参加してくれました。浜町の盆踊りでも私に声をかけてくれる人がいて、ちょっとした声かけで人と人はつながれる、こういうつながりが増えてほしい、と思いました。

箕輪 マンションで暮らす人の中には地域とつながりたくない人や鍵ひとつで生活できるのが魅力だと感じる人もいます。きれいごとではいけないことも多いですね。皆さんのような行動力のある人ばかりならいいですけど(笑)。ただつながりづくりはボランティアをしている私たちの役目でもありますし、これから先、つながりと支えあいの地域づくりを進める上でボランティアの裾野を広げていくことはとても大切だと思います。

今後の展望や社協に期待すること

大谷 私は目の不自由な方向けに録音図書を作る活動を40年以上行っています。そこでいつも感じていたことですが、そういう事業があるということを知らない人が多いですね。周知することが難しいんです。民生委員として地域を回っていると「こういったときはどうしたらいいんでしょう」と聞かれ、「こういう事業がありますよ」とお伝えするのですが、知られていないことが多いですね。社協にもいろいろなサービスがありますが、どうしたら必要としている人に伝えられるかということを考えてほしい。チラシや広報紙を読まない人に知らせる術がないものかと。他にもいろいろありますが、安心し



て困っていることの話ができる、お願いができる地域社会であればいいないつも思っています。

箕輪 社協で月1回開催される、ボランティアを広める取り組みについてボランティア同士で話し合う「ちゅうおうボラネット」という会に参加しています。そこで例えば災害等のテーマを決めてグループに分かれてディスカッションすると、テーマ以外の困りごとについても話が聴けたりします。普段は異なる立場の人が集まってディスカッションする機会は少ないと思いますので、そうした機会を活動のPRや情報交換の場にしてもよいのでは、と思います。今は参加者の7～8割が常連ですが、新しい人にももっと入ってきてほしいですね。私たちは他の活動を知ることによって新しい世界が広がり、また自分たちの活動がそこで認められればやりがいにもつながります。社協にはそういう場をどんどん作っていただいて、発信していただいて、私たちはそこでちょっとかじっておいしければ(笑)また次の活動にいつかよう、ということです。

鳴海 活動する中で社協のバックアップはありがたいです。先日社協から道具を借りてポッチャ体験会を企画しまして。PRは口頭で「やるよ」「待ってるよ」だけ(笑)。それなのに大勢の人が集まったので急遽職員の方に来ていただきました。皆さん、フットワークがよくて感心しました。これからも職員の皆さんにはお願いしたいことがいっぱいあります。一

緒に支えあって仲間に入ってください。地域の人たちの生の声を一緒に聴いてください。職員の皆さんが一生懸命に動いてくださるので、「浜町カフェ」のメンバーとは顔と顔のつながりができて、中には社協他の活動に興味を持ち始めた方もいます。そんなことから社協には力があるんだと感じます。

辻井 人はそれぞれ、いろいろな事情で近隣とのつながりが希薄になってしまうことがあると思います。私の場合、そんな時に街角で花を育てるボランティア活動を知りました。その活動を始めてから、すれ違うお子さんが「きれいな花だね」とお母さんに話しかけていたり、散歩をしている高齢者の方が「あ

ら、頑張っているわね」と声をかけてくださったりと地域の方との会話が生まれました。その時感じたのは、家以外の居場所も必要なんだな、ということです。例えば不登校の子どもが日中図書館にいと不自然に映るかも知れませんが、それを周囲が認めてくれる雰囲気になると子どもの自己肯定感が上がり、前に進むことができます。不登校に限らず、障害のある方、悩みや不安を抱えている方にも居場所ができれば素敵だなと思います。私は不登校の親の会を立ち上げたいと思い、社協に相談するとトントン拍子にできました。居場所づくりは特別なことではない、誰でもできるんだよということが、区民の皆さんに伝わるような活動を社協には期待しています。

皆様、「つながりと支えあいの地域づくり」について大変有意義で楽しいお話をありがとうございました。どれも地域で暮らす皆様のご経験に基づいていて、今後の社協と地域社会の進んでいく方向性を示していただいたものと思います。

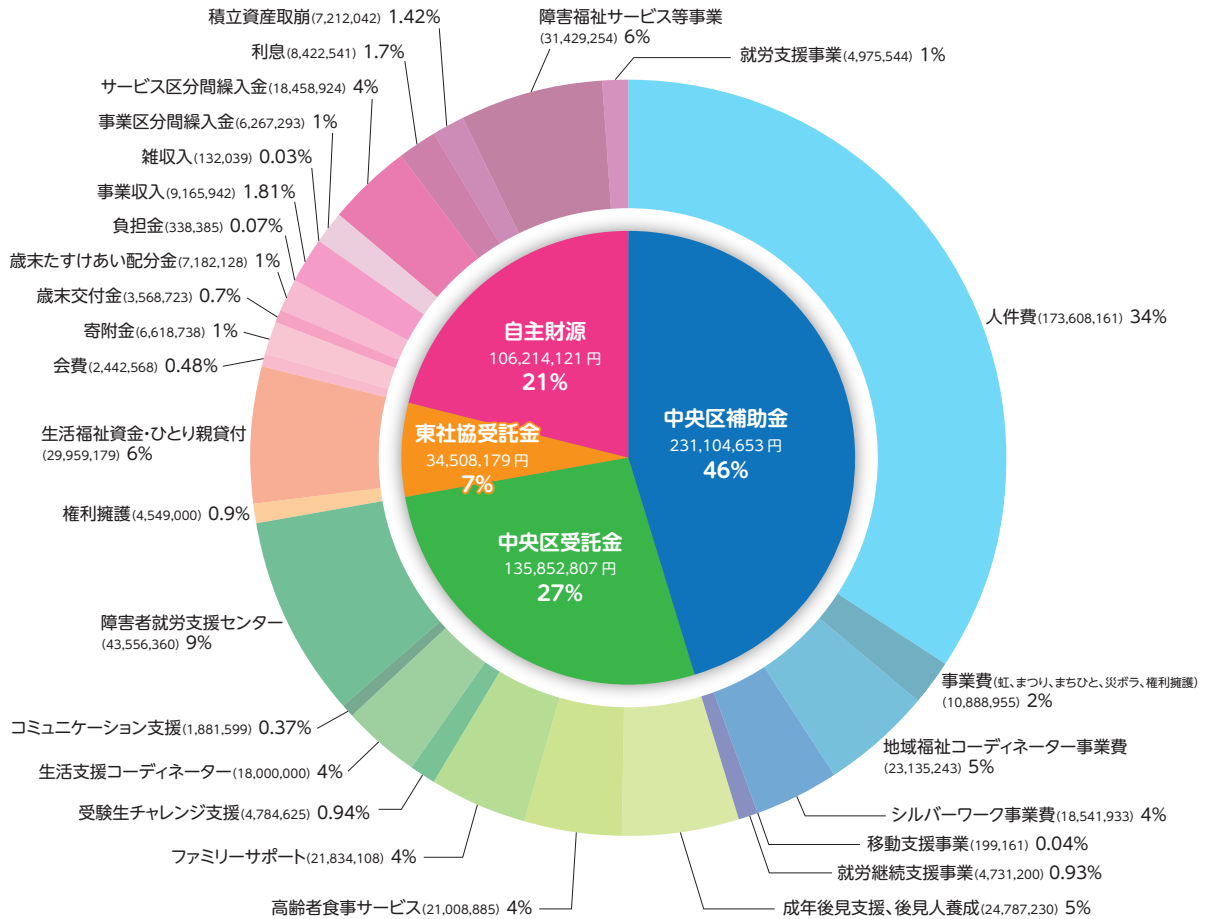
これからも皆様のご支援・ご協力をいただきながら、中央区らしい「地域共生社会」の実現に向けて、社協職員一丸となって各種事業の推進に取り組んでまいります。



はまる一む（令和3年6月開設）前にて 左から辻井美帆さん、鳴海なほみさん、箕輪慎さん、大谷のぶ子さん

数字で見る中央区社会福祉協議会 ―統計資料―

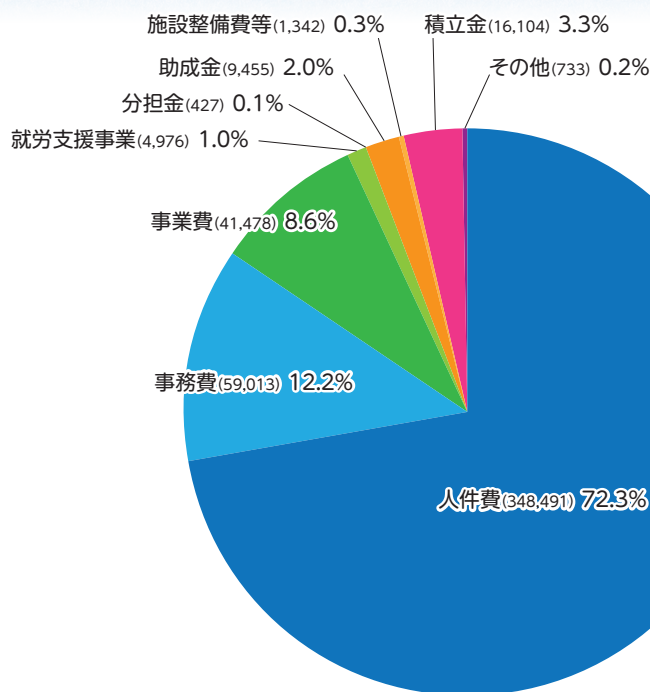
令和3年度決算の収入内訳(内部取引消去前)



単位: 円

| | | | |
|--------|-------------|--------------------------|-------------|
| 中央区補助金 | 231,104,653 | 人件費 | 173,608,161 |
| | | 事業費(虹、まつり、まちひと、災ボラ、権利擁護) | 10,888,955 |
| | | 地域福祉コーディネーター事業費 | 23,135,243 |
| | | シルバーワーク事業費 | 18,541,933 |
| | | 移動支援事業 | 199,161 |
| | | 就労継続支援事業 | 4,731,200 |
| | | 成年後見支援、後見人養成 | 24,787,230 |
| 中央区受託金 | 135,852,807 | 高齢者食事サービス | 21,008,885 |
| | | ファミリーサポート | 21,834,108 |
| | | 受験生チャレンジ支援 | 4,784,625 |
| | | 生活支援コーディネーター | 18,000,000 |
| | | コミュニケーション支援 | 1,881,599 |
| | | 就労支援 | 43,556,360 |
| | | 権利擁護 | 4,549,000 |
| 東社協受託金 | 34,508,179 | 生活福祉資金・ひとり親貸付 | 29,959,179 |
| | | 会費 | 2,442,568 |
| 自主財源 | 106,214,121 | 寄附金 | 6,618,738 |
| | | 歳末交付金 | 3,568,723 |
| | | 歳末たすけあい配分金 | 7,182,128 |
| | | 負担金 | 338,385 |
| | | 事業収入 | 9,165,942 |
| | | 雑収入 | 132,039 |
| | | 事業区分間繰入金 | 6,267,293 |
| | | サービス区分間繰入金 | 18,458,924 |
| | | 利息 | 8,422,541 |
| | | 積立資産取崩 | 7,212,042 |
| | | 障害福祉サービス等事業 | 31,429,254 |
| | | 就労支援事業 | 4,975,544 |

令和3年度決算の支出(費目別)



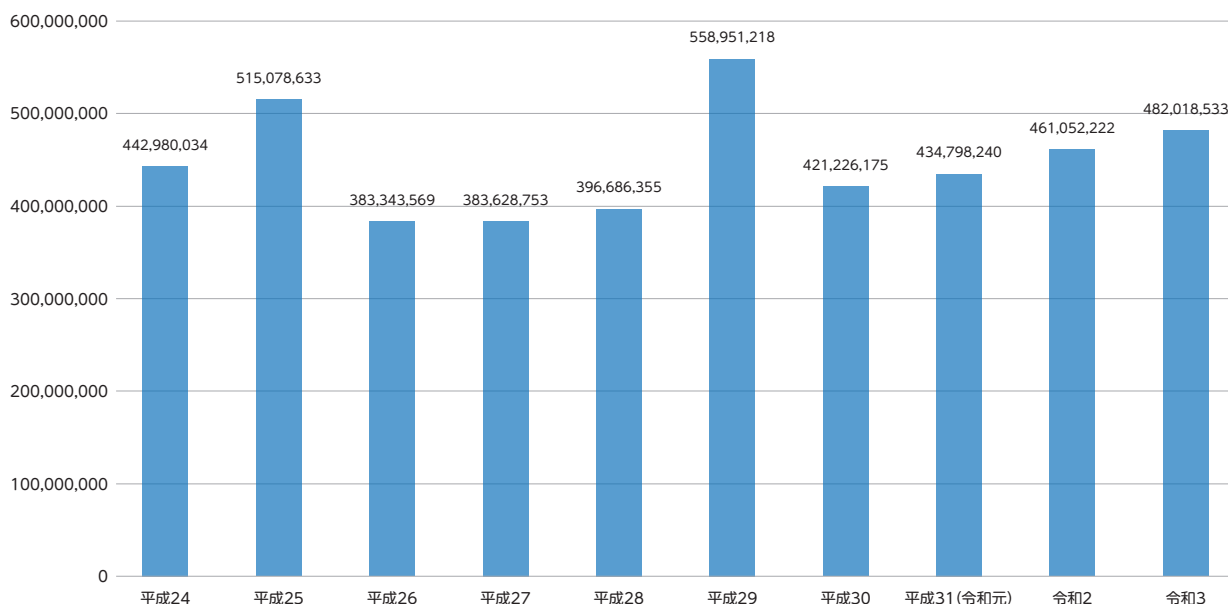
令和3年度支出(費目別)

単位：千円

| | |
|--------|---------|
| 人件費 | 348,491 |
| 事務費 | 59,013 |
| 事業費 | 41,478 |
| 就労支援事業 | 4,976 |
| 分担金 | 427 |
| 助成金 | 9,455 |
| 施設整備費等 | 1,342 |
| 積立金 | 16,104 |
| その他 | 733 |
| 総額 | 482,019 |

決算額の推移

単位：円



平成25年度 福祉事業基金新規積立による増(54,224千円)

平成29年度 在宅福祉サービス推進基金新設(129,000千円)、地域福祉コーディネーターサービス区分及び生活支援コーディネーターサービス区分新設(22,114千円、6,000千円)

令和1年度 地域福祉コーディネーターサービス区分、生活支援コーディネーターサービス区分、障害者就労支援センターサービス区分委託費増(9,678千円、6,097千円、6,762千円)

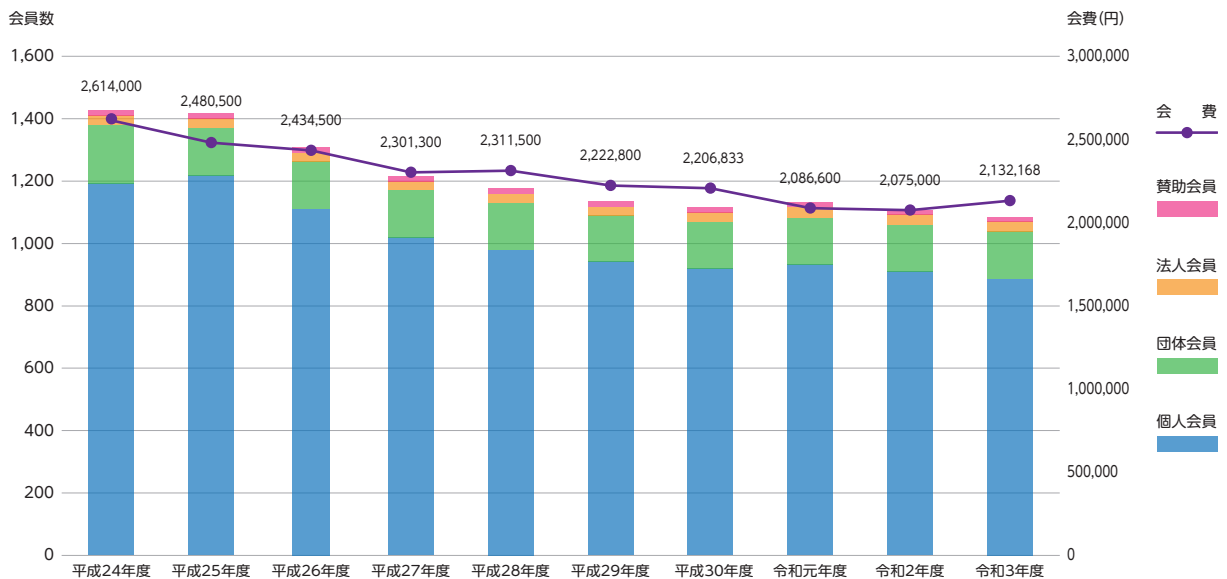
令和2年度 新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金特例貸付委託費増(14,072千円)、生活支援コーディネーターサービス区分委託費増(6,000千円)

令和3年度 新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金特例貸付委託費増(9,380千円)、はまーむ設置による事務費増(7,723千円)

数字で見る中央区社会福祉協議会 ―統計資料―

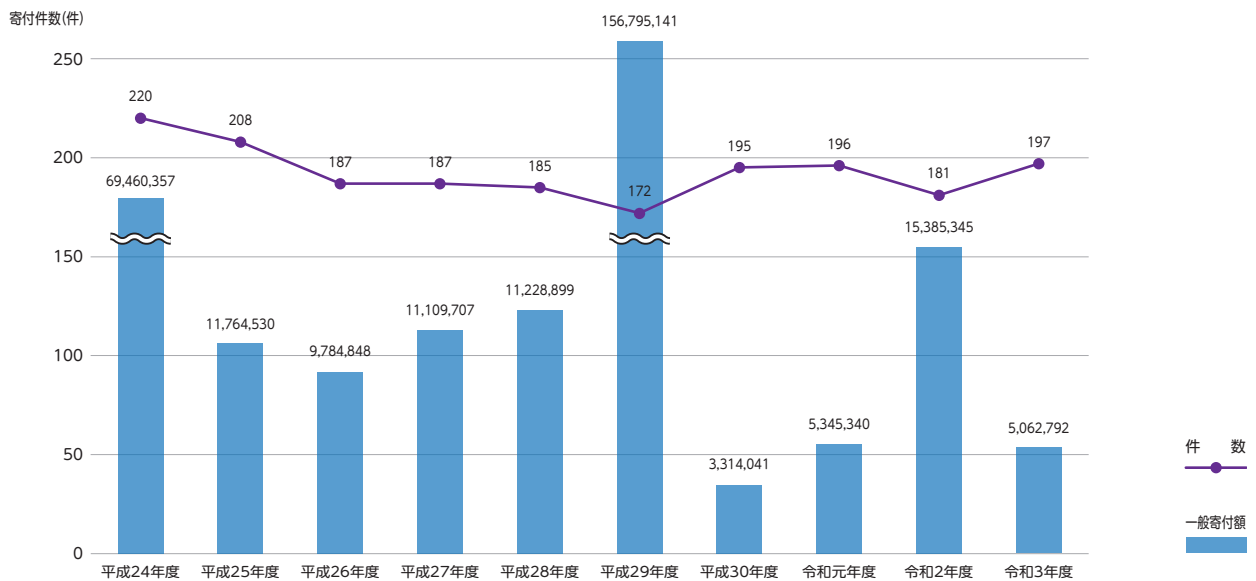
会員・会費の推移

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 会費(円) | 2,614,000 | 2,480,500 | 2,434,500 | 2,301,300 | 2,311,500 | 2,222,800 | 2,206,833 | 2,086,600 | 2,075,000 | 2,132,168 |
| 個人会員 | 1,192 | 1,218 | 1,111 | 1,019 | 980 | 942 | 920 | 933 | 910 | 886 |
| 団体会員 | 188 | 153 | 153 | 152 | 151 | 149 | 150 | 149 | 150 | 151 |
| 法人会員 | 30 | 30 | 27 | 28 | 28 | 27 | 30 | 34 | 33 | 33 |
| 賛助会員 | 18 | 18 | 17 | 17 | 16 | 16 | 16 | 15 | 13 | 13 |
| 合計(会員数) | 1,428 | 1,419 | 1,308 | 1,216 | 1,175 | 1,134 | 1,116 | 1,131 | 1,106 | 1,083 |



一般寄付額・寄付件数の推移

| 年 度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|----------|------------|------------|-----------|------------|------------|-------------|-----------|-----------|------------|-----------|
| 一般寄付額(円) | 69,460,357 | 11,764,530 | 9,784,848 | 11,109,707 | 11,228,899 | 156,795,141 | 3,314,041 | 5,345,340 | 15,385,345 | 5,062,792 |
| 件 数 | 220 | 208 | 187 | 187 | 185 | 172 | 195 | 196 | 181 | 197 |



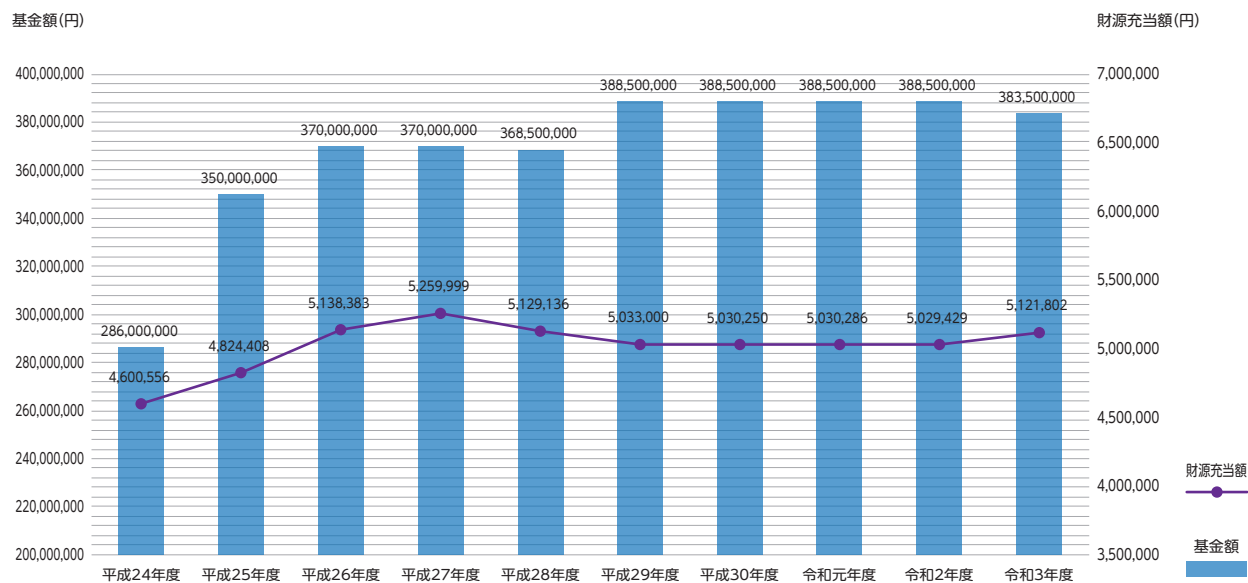
※平成24年度は約5,600万円の寄付1件あり。
 ※平成29年度は約2,340万円の寄付1件、約1億2千956万円の寄付1件あり。
 ※令和2年度は790万円の寄付1件あり。

基金の状況

● 福祉事業基金

地域福祉推進のため、基金の効率的な運用を図り、その運用益を本会が実施する事業の充当財源としています。

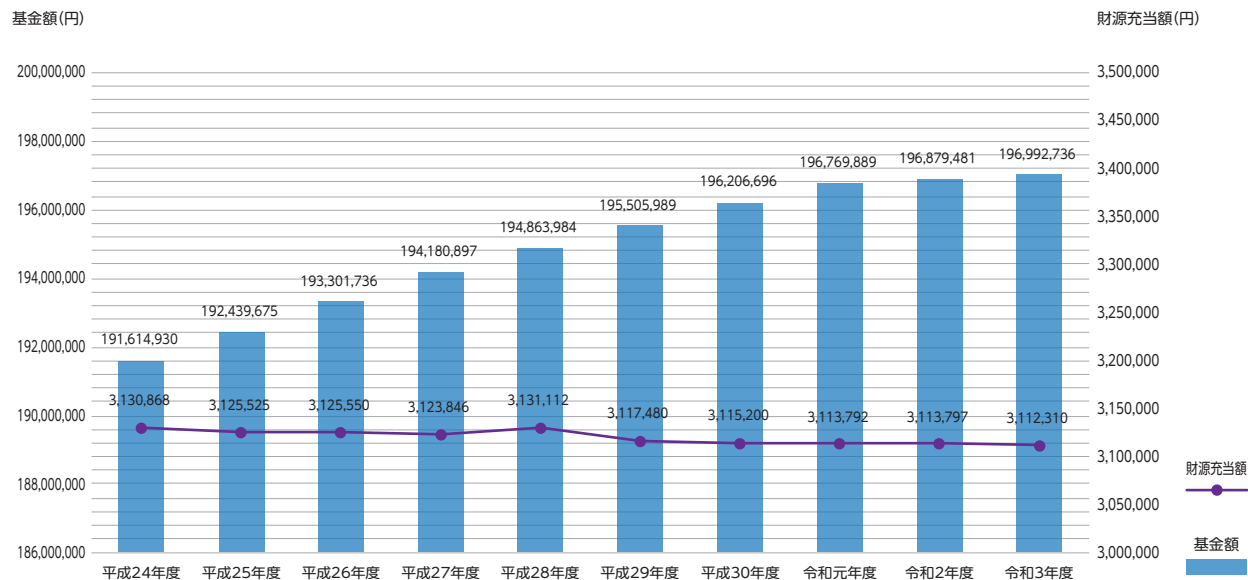
| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 基金額(円) | 286,000,000 | 350,000,000 | 370,000,000 | 370,000,000 | 368,500,000 | 388,500,000 | 388,500,000 | 388,500,000 | 388,500,000 | 383,500,000 |
| 財源充当額(円) | 4,600,556 | 4,824,408 | 5,138,383 | 5,259,999 | 5,129,136 | 5,033,000 | 5,030,250 | 5,030,286 | 5,029,429 | 5,121,802 |



● ボランティア基金

ボランティア活動の振興を目的として、寄付金を積み立てて、その運用益をボランティア活動に関する事業の充当財源としています。

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 基金額(円) | 191,614,930 | 192,439,675 | 193,301,736 | 194,180,897 | 194,863,984 | 195,505,989 | 196,206,696 | 196,769,889 | 196,879,481 | 196,992,736 |
| 財源充当額(円) | 3,130,868 | 3,125,525 | 3,125,550 | 3,123,846 | 3,131,112 | 3,117,480 | 3,115,200 | 3,113,792 | 3,113,797 | 3,112,310 |



● 在宅福祉サービス推進基金

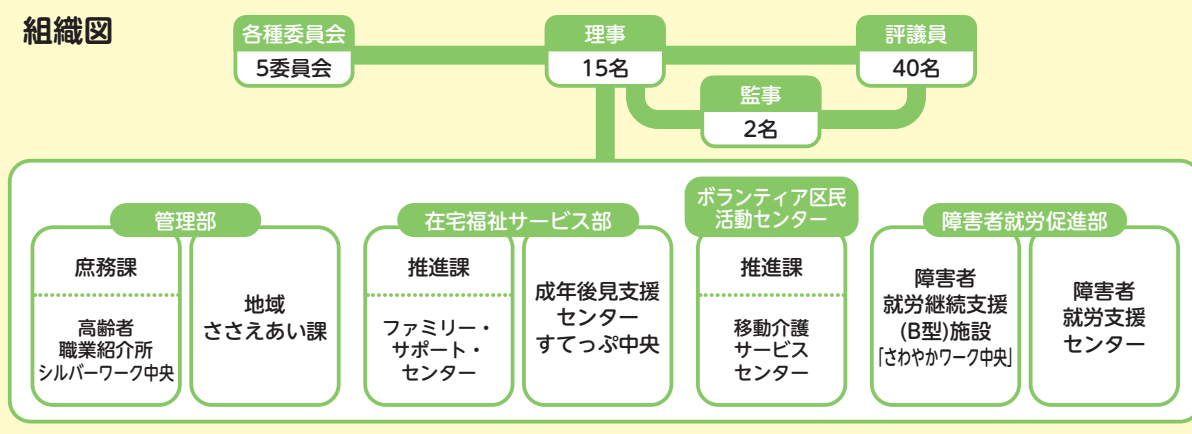
在宅福祉サービスの充実を目的として平成29年度に設置した基金の運用益を、在宅福祉サービスの推進に関する事業の充当財源としています。

| | |
|-----|-----------------------|
| 基金額 | 129,000,000円 |
| 運用益 | 175,578円 (令和3年度実績) |

歴代会長一覧

| 期 | 氏 名 | 任 期 | 就 任 | 退 任 |
|----|-----------|-----------------------|------------|-----------|
| 1 | 高 橋 與 作 | 昭和37. 9.10～昭和39.11. 9 | 昭和37.9.10 | 昭和53.11.9 |
| 2 | | 昭和39.11.10～昭和41.11. 9 | | |
| 3 | | 昭和41.11.10～昭和43.11. 9 | | |
| 4 | | 昭和43.11.10～昭和45.11. 9 | | |
| 5 | | 昭和45.11.10～昭和47.11. 9 | | |
| 6 | | 昭和47.11.10～昭和49.11. 9 | | |
| 7 | | 昭和49.11.10～昭和51.11. 9 | | |
| 8 | | 昭和51.11.10～昭和53.11. 9 | | |
| 9 | 横 田 勉 | 昭和53.11.10～昭和55.11. 9 | 昭和53.11.10 | 昭和61.1.25 |
| 10 | | 昭和55.11.10～昭和57.11. 9 | | |
| 11 | | 昭和57.11.10～昭和59.11. 9 | | |
| 12 | 村 田 長 兵 衛 | 昭和59.11.10～昭和61.11. 9 | 昭和61.2.26 | 平成4.3.17 |
| 13 | | 昭和61.11.10～昭和63.11. 9 | | |
| 14 | | 昭和63.11.10～平成 2.11. 9 | | |
| 15 | | 平成 2.11.10～平成 4.11. 9 | | |
| 16 | 筑 間 正 雄 | 平成 4.11.10～平成 6.11. 9 | 平成4.3.27 | 平成6.11.9 |
| 17 | 岡 村 信 一 郎 | 平成 6.11.10～平成 8.11. 9 | 平成6.11.10 | 平成8.11.9 |
| 18 | 倉 橋 良 二 | 平成 8.11.10～平成10.11. 9 | 平成8.11.10 | 平成14.9.13 |
| 19 | | 平成10.11.10～平成12.11. 9 | | |
| 20 | 柴 崎 仁 久 | 平成12.11.10～平成14.11. 9 | 平成14.9.14 | 平成23.9.2 |
| 21 | | 平成14.11.10～平成16.11. 9 | | |
| 22 | | 平成16.11.10～平成18.11. 9 | | |
| 23 | | 平成18.11.10～平成20.11. 9 | | |
| 24 | | 平成20.11.10～平成22.11. 9 | | |
| 25 | 日 比 浩 | 平成22.11.10～平成24.11. 9 | 平成23.11.10 | 平成26.11.9 |
| 26 | | 平成24.11.10～平成26.11. 9 | | |
| 27 | 中 野 耕 佑 | 平成26.11.10～平成28.11. 9 | 平成26.11.10 | |
| 28 | | 平成28.11.10～平成29. 6. 8 | | |
| 29 | | 平成29. 6. 9～令和 元 6.12 | | |
| 30 | | 令和 元 6.13～令和 3. 6.14 | | |
| 31 | | 令和 3. 6.15～令和 5. 6 | | |

組織図



歴代役員一覧

| 期 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |
|----------------|---|---|--|---|--|---|
| 任 期 | H24.11.10～H26.11.9 | H26.11.10～H28.11.9 | H28.11.10～H29.6.8 | H29.6.9～R1.6.12 | R1.6.13～R3.6.14 | R3.6.15～R5.6 |
| 会 長 | 日 比 浩 | 中 野 耕 佑 | 中 野 耕 佑 | 中 野 耕 佑 | 中 野 耕 佑 | 中 野 耕 佑 |
| 副 会 長 | 鹿 島 新 吾 中 野 耕 佑 高 橋 邦 夫 | 鹿 島 新 吾 蒲 原 勝 高 橋 邦 夫 (H27.11.10退任) | 鹿 島 新 吾 蒲 原 勝 | 鹿 島 新 吾 蒲 原 勝 | 鹿 島 新 吾 蒲 原 勝 | 鹿 島 新 吾 松岡 誠一郎 |
| 副 会 長 兼常務理事 | | 高 橋 邦 夫 (H27.11.11就任)(H28.7.31退任) 小 泉 典 久 (H28.8.1就任) | 小 泉 典 久 | 小 泉 典 久 | 田 中 武 | 古田島 幹雄 (R4.4.1就任) |
| 常務理事 | 斎 藤 裕 文 | 斎 藤 裕 文 (H27.11.10退任) | | | | |
| 会 計 理 事 | 柳 田 莊 二 | 柳 田 莊 二 | 鈴 木 英 子 | | | |
| 理 事 | 蒲 原 勝 安 西 暉 之 宮 森 孝 一 大 長 謙 藏 (H25.11.30退任) 牛 久 芳 枝 (H25.11.30退任) 神 山 マサ子 (H25.11.30退任) 吉 岡 昌 子 (H25.11.30退任) 鈴 木 英 子 (H25.12.1就任) 鈴木 勝一路 (H25.12.1就任) 小 村 眞 理 (H25.12.1就任) 立 岩 絹 子 (H25.12.1就任) 大 金 紀 子 (H25.4.2退任) 相 澤 俊 一 (H25.11.1就任) 後 藤 公 夫 平 林 治 樹 (H25.11.1就任) | 古 澤 悦 子 安 西 暉 之 宮 森 孝 一 鈴 木 英 子 鈴木 勝一路 小 村 眞 理 立 岩 絹 子 相 澤 俊 一 後 藤 公 夫 平 林 治 樹 (H27.6.30退任) 黒 川 眞 (H27.11.11就任) | 古 澤 悦 子 安 西 暉 之 宮 森 孝 一 鈴木 勝一路 小 村 眞 理 平 賀 淳 子 坪井チヨウ子 相 澤 俊 一 後 藤 公 夫 黒 川 眞 | 松岡 誠一郎 安 西 暉 之 宮 森 孝 一 鈴 木 英 子 鈴木 勝一路 小 村 眞 理 平 賀 淳 子 坪井チヨウ子 相 澤 俊 一 後 藤 公 夫 黒 川 眞 (H29.11.30退任)(H30.3.19就任) | 松岡 誠一郎 安 西 暉 之 宮 森 孝 一 鈴 木 英 子 鈴木 勝一路 (R2.3.17退任) 箱 守 由 記 (R2.3.18就任) 小 村 眞 理 平 賀 淳 子 小 村 眞 理 平 賀 淳 子 薩 埴 稔 坪井チヨウ子 相 澤 俊 一 後 藤 公 夫 後 藤 公 夫 田 中 智 彦 田 中 智 彦 | 松 崎 宗 仁 安 西 暉 之 角 山 良 敬 鈴 木 英 子 箱 守 由 記 小 村 眞 理 平 賀 淳 子 薩 埴 稔 相 澤 俊 一 後 藤 公 夫 田 中 智 彦 |
| 監 事 | 水 野 雅 生 安 達 征 太 | 水 野 雅 生 安 達 征 太 | 水 野 雅 生 山 崎 修 | 水 野 雅 生 山 崎 修 (H29.11.30退任) 早乙女 道子 (H29.12.1就任) | 水 野 雅 生 早乙女 道子 | 水 野 雅 生 早乙女 道子 |
| 相 談 役 | 小 堀 章 三 | 小 堀 章 三 日 比 浩 | 小 堀 章 三 日 比 浩 | 小 堀 章 三 日 比 浩 (H29.11.20退任) | 小 堀 章 三 | |

地域とともに 60年



これまでも これからも

歴代評議員一覧

| | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
|-------|---|--|---|---|--|
| 任 期 | H24.10.20～H26.10.19 | H26.10.20～H28.10.19 | H28.10.20～H29.3.31 | H29.4.1～R3.6.14 | R3.6.15～R7.6 |
| 評 議 員 | 榎本 永寛 亀岡 章浩 森岡 誠一郎 松井 吉郎 石井 悦子 古田 智子 菊田 光司 坂田 茂之 小西 常二 瀧野 正夫 秋名 信一 (H26.3.19退任) 吉澤 今朝三 清水 貞男 (H25.10.1就任) 櫻井 孝治 宝泉 征雄 高橋 秀吉 箱田 由記 藤守 榮路 (H25.11.30退任) 安達 公一 (H25.12.1就任) 鈴木 英子 (H25.11.30退任) 永井 和代 (H25.12.1就任) 吉田 美保子 平賀 淳子 小村 真理 (H25.11.30退任) 松原 正子 (H25.12.1就任) 加藤 恵子 立岩 絹子 (H25.11.30退任) 郷 光恵 (H25.12.1就任) 縫田 中 (H25.11.30退任) 薩埵 稔 (H25.12.1就任) 坪井チヨウ子 木皿儀 孝子 山本 典子 相澤 俊一 (H25.11.30退任) 西野 とし子 (H25.12.1就任) 前場 京子 戸島 かずゑ (H25.9.30退任) 濱川 浩子 (H25.10.1就任) 渡辺 成 (H25.9.30退任) 稲葉 喜美代 (H25.10.1就任) 沼田 裕見子 宇治川 紀子 (H25.9.30退任) 吉田 千晴 (H25.10.1就任) 酒井 英彦 清水 学 (H25.9.30退任) 森田 潤一 (H25.10.1就任) | 榎本 永寛 松崎 宗仁 森岡 誠一郎 松井 吉郎 石井 悦子 増田 智子 菊田 光司 坂田 茂之 小西 常二 瀧塚 平吉 大林 慶造 吉澤 今朝三 清水 貞男 神谷 孝光 櫻井 征雄 宝武 角山良敬 (H28.3.18就任) 高橋 秀吉 永箱 守由 藤安 達公一 吉田 美保子 松原 正子 平賀 淳子 加藤 恵子 坪井チヨウ子 木皿儀 孝子 郷 光恵 薩山 典子 西野 とし子 前場 京子 濱川 浩子 稲葉 恵美子 直江 幸彦 品川 英彦 酒井 典幸 本 (H27.4.30退任) 岩崎 滋 (H27.10.21就任)(H28.5.15退任) | 榎本 永寛 松崎 宗仁 森岡 誠一郎 松井 吉郎 石井 悦子 増田 智子 菊田 光司 坂田 茂之 小西 常二 瀧塚 平吉 大林 慶造 吉澤 今朝三 清水 貞男 神谷 孝光 櫻井 征雄 宝武 角山良敬 永箱 守由 徳 渡辺千弘 (H29.3.17就任) 山崎 恵孝子 加藤 稔子 西野 とし子 前場 京子 濱川 浩子 稲葉 恵美子 直江 幸彦 岩崎 英彦 酒井 典幸 田 彦也 | 榎本 永寛 (R1.9.30退任) 松崎 宗仁 森岡 誠一郎 (H29.6.7就任) 五味 達夫 (H29.6.8就任) 石井 吉郎 増田 智子 菊田 光司 坂田 茂之 小西 常二 瀧塚 平吉 大林 慶造 吉澤 今朝三 清水 貞男 櫻井 孝治 (R3.3.7就任) 宝泉 光雄 角山地堅 菊井 和代 永 (R2.3.18退任) 廣澤 廣 (R3.3.8就任) 箱守 由記 (R2.3.18退任) 雨宮 優子 (R3.3.8就任) 徳堂 康彦 渡辺 千弘 (R2.3.18退任) 沼崎 富雄 (R3.3.8就任) 山崎 勇子 加藤 恵子 (R2.3.18退任) 北角 満 (R3.3.8就任) 木皿儀 孝子 郷 光恵 (R2.3.18退任) 村上 久子 (R3.3.8就任) 薩埵 稔 (R2.3.18退任) 成田 房代 (R3.3.8就任) 山本 典子 (H30.10.30退任) 海老原安希子 (H31.2.19就任) 西野 とし子 前場 京子 濱川 浩子 稲葉 喜美子 直江 恵美子 岩野 たみ子 (H29.4.1退任) 渡辺 恵美子 (H29.6.8就任)(R1.9.30退任) 吉田 千晴 (R3.3.8就任) 佐藤 恵子 神崎 雄二 (H31.1.3退任) 池 星 熙 (H31.2.19就任)(R2.3.31退任) 竹田 たまみ (R3.3.8就任) 篠原 良子 酒井 英彦 岩田 享也 (R1.5.28退任) 坂間 政利 (R1.5.29就任) | 嶋田 一夫 森味 達夫 五井 吉郎 増田 智子 菊坂 光司 田田 茂之 小西 常二 瀧塚 平吉 大林 慶造 太田 久行 峰岸 宏夫 神谷 聖子 神宮 幸堅 中澤 優康 菊地 富子 廣宮 崎角 雨宮 儀孝 徳沼 久子 沼山 北子 山北 子 木村 房代 成海老原安希子 西野 とし子 前場 京子 濱川 浩子 新室 淑子 吉田 千恵子 佐藤 良彦 竹篠 英祥 河野 多 |



中央区社会福祉協議会 法人化60周年記念誌

2023年3月発行

発行 社会福祉法人 **中央区社会福祉協議会**

〒104-0032 中央区八丁堀4-1-5

TEL 3206-0506 (代表)

FAX 3206-0601

MAIL kakehashi@shakyo-chuo-city.jp

URL <https://www.shakyo-chuo-city.jp/>

LINE公式
アカウント



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを採用しています。

印刷・製本 小宮山印刷株式会社